

翻刻と紹介 「奥田良三日記 昭和十四年」

上西晴也
佐藤大悟
塚原浩太郎
谷川みらい
志賀賢二

解説

本稿は、内務官僚奥田良三（一九〇三～一九八九）が、昭和14年に記した日記を紹介するものである。明治36（一九〇三）年、奈良県生駒郡筒井村（現・郡山市筒井町）の豪農の家に生まれた奥田良三（以下、良三）は、第三高等学校、東京帝国大学法学部政治学科を卒業して昭和2年内務省に入省、山形県属を皮切りに、岩手・岡山・福岡の各県で課長級の職を、昭和15年宮崎県警察部長に昇進して以降は石川・静岡・千葉の各県で部長級の職を歴任し、昭和22年に官選最後の群馬県知事に就任した。知事公選化後は、福岡県副知事を1期務めた後、昭和26年から昭和55年まで8期29年に渡って奈良県知事に在任し、この間昭和51年から55年には全国知事会長にも就任している^①。

「奥田良三日記 昭和十四年」（以下「日記」）は、良三が福岡県農務課長であった昭和14年に記した日記である。「日記」は福岡の百貨店玉屋で購入された当用日記にペン字で記入され、一日分の記述量は最大百字程度であるが、空白なく継続的に記入され、農務課長として

の良三の、年間を通しての仕事の様相を窺うことができる。

昭和戦前期の内務官僚の日記は、鹿児島県知事・福岡県知事・警保局長を務めた松本学や、秋田県知事から関東局に転じた武部六蔵のものがすでに刊行されているが、松本や武部は良三より一回り以上年上で、一九三〇年代前半までに知事に昇任し、三〇年代後半には内務省を離れている。本「日記」は、三〇年代後半に府県で課長級であった内務官僚の日記として、直接的に福岡県政史の史料となるのみならず、当該期の内務行政を研究する上で様々な示唆を与えるものと考ええる。

「日記」の魅力は、当該期の地方における内務官僚のありようが多角的に映し出されている点にある。その第一は、官僚としての実際の業務内容の記述である。日々の記述には、その時々良三が出席している会合、出張先、課題となっている事案などが記載され、また、県参事会の開催（二月一日）、知事の交代（四月二十二日）、県会開催（十一月二十日）といった行事の発生に伴って、書記官クラスの官僚が具体的にどのような役割を果たしているかを窺うことができる。

当該期に特徴的な事件として、日記前半では、経済更生特別助成村の指定と各郡での経済更生委員会の発足が、後半では、侍従が視察に差遣される事態となった、九州地方の旱害³への対応が挙げられよう。前者では、良三は各郡での会合の度に「同ジコトヲ繰り返ヘシ言フハ大変」（二月二十三日）と感想を漏らす一方で、「如何ニモ貧弱村」（四月四日）、「実ニ盛会」（四月二十日）など、簡潔ながら場所ごとの印象を記しており、事業が府県レベルから郡市・町村レベルへ下達されていく段階の様相を知ることができる。後者では、旱害対策に消防用ガソリンポンプの動員が実行されていく過程（七月十七日）や、政府米払い下げのための農林省との折衝（九月八日）など、立案・折衝段階の政策が実現していく過程が書き込まれている。

第二に、官僚奥田良三の人的交流の記述である。業務の中で接する、直属の上司である県知事・経済部長、他の部課の長、農務課の下僚に加え、宴会や来訪者の記述、上京時に良三自身が訪れた相手の記載も多い。下僚の中では特に、地方農林技師・奥村利雄と属・東房太の名が頻出し、農務課の中でもこれら特定の人物が良三の副官的役割を果たしていたことが想像される。私的な接触では、三高・東大法学部・内務省入省それぞれの同期生の名前が多く見え、奈良県出身の同郷者や、過去の配属先での上司・同僚・部下、趣味の囲碁を通じた交流と合わせて、書記官クラスの内務官僚がどのような人的交流の中で仕事を遂行していたかが窺える。後に奈良県知事に就任した際、良三は三高・東大・入省同期の低位真一郎を山梨県総務部長から引き抜いて副知事に迎え、長期間コンビを組んでいるが、「日記」に見える、同期を中心とした交流はまた、戦後の地方政治家の人脈がどのようにして形成されたかを知る手がかりともなろう。

第三は、官僚奥田良三の生活と内面の記述である。課長職を転任し続けて三十代後半となった良三は、先に部長となった同期の人事を特記し（六月二十三日）、部長に昇進したものの赴任先が沖繩である同僚を「氣ノ毒」と評し（四月二十六日）、自身が異動の選から漏れた落胆を直截的に述べる（四月二十一日、九月八日）など、人事異動、とりわけ部長級の人事に執着を示しており、内心で部長への昇進に強い期待を抱いていたことがわかる。他方で、「支那事变第三年目」の当時、すでに職場や郷里の人間、あるいはその子息の出征は珍しいことではなく、「日記」一月一日条が「事変勃発以来、幾度カ応召ノ用意ヲセシニ、其ノ事ナク平穩」であることから書き出されているように、良三には、自らもいずれは士官として戦地に赴かざるを得ないという意識があった。こうした、自身と同僚の異動や出征に関する論評、さらに、神事に対する態度などは、当時の内務官僚が抱いていた、官僚としての自意識、ライフコースについての観念を知る材料となろう。私生活の面では、特に子どもの病気に関する記述が多い。就学年齢以下の子ども四人を抱え、産後の妻俊子も病弱であった奥田家では、常に家族の誰かに体調上の問題が発生しており、家の切り盛りには、夫良三の奮闘に加えて、隣人・女中・産婆・複数の医師など、多くの他者の参与を必要とした。また、日記の中では必ずしも明瞭に語られていないが、子育てに関してはおそらく、両親が健在であり、姉妹が多かった妻の実家が貢献した部分も大きかったであろう。「日記」中には、妻方の親戚に関する記述が多く見られる。他方で、父をすでに亡くしていた良三自身は、郷里に一人残している母親に対して特別な思い入れを示しており、上京の機会をとらえては郷里に足を運んでいる様子が、「日記」中の随所に描かれている。「日記」はまた、地方か

ら中央の高校・大学に出て学歴と人脈を得、官僚として出身地でない地方を転々としていく、という、近代日本の一つの典型的な立身出世の道を辿りつつある人物の、精神世界と家庭生活のありようを、具体的に示した例でもある。

本「日記」が翻刻・掲載に至った経緯を述べる。奈良市内にあった良三の奈良県知事時代の旧邸は、良三の没後空き家となっていたが、二〇〇〇年代後半に遺族によって処分が行われた。この際、邸内の物品・文書は大部分が廃棄された⁽⁵⁾と思われるが、ごく一部の遺品が、形見として遺族に分配された。奥田家と縁戚関係があった、奈良県吉野郡吉野町の上西家には、良三が県知事退任時に刊行した自伝と、趣味であった能の謡書が収納された棚1点が引き取られた。「日記」はこの棚の中に納められていたものを、二〇一六年夏に筆者が吉野町を訪れた際に発見し、所有者の許可を得て『東京大学日本史学研究室紀要』に掲載の運びに至ったものである⁽⁷⁾。

「奥田良三日記 昭和十四年」の翻刻は、東京大学大学院人文社会系研究科博士課程の佐藤大悟、同修士課程の塚原浩太郎、谷川みらい、上西晴也、法学政治学研究科博士課程の志賀賢二が行い、取りまとめは上西晴也と佐藤大悟、解説の執筆と人名の推定は上西晴也が行った。人名に関しては、「日記」に登場する人名のほとんどが名字のみの記載であるため、特定が困難である部分が少なかったが、遺族からの聞き取りと、「日記」と別に伝存している奥田家の冠婚葬祭に関する史料（来客名簿や弔電など）によって可能な限り推定した。

なお、最後になりましたが、奥田良三日記の翻刻・紹介をお許しくださり、翻刻文について惜しみなくご助言くださった上西（奥田）良子氏と、奥田良三の遺品の保護に快く協力された上西康晴氏に、心よ

り感謝を申し上げます。

註

- (1) 「奥田良三略歴」（奥田良三『燦々菁々滾々 私の県政史』ぎょうせい、一九八〇、二八七―二八八頁）。
- (2) 伊藤隆・広瀬順昭編『近代日本史料選書11 松本学日記』（山川出版社、一九九五）、田浦雅徳・古川隆久・武部健一編『武部六蔵日記』（芙蓉書房出版、一九九九）。
- (3) 宮内庁『昭和天皇実録七』（東京書籍、二〇一六）昭和14年10月13日条。
- (4) 秦郁彦編『日本官僚制総合事典』（東京大学出版会、二〇〇一）二六〇頁。
- (5) このため、筆者が確認した限り、現在、奥田良三の子孫のもとには、「日記」以外には、内務官僚期・奈良県知事期の奥田良三の関係史料はほとんど残存していない。
- (6) 前掲奥田良三『燦々菁々滾々 私の県政史』。
- (7) なお、この際、奥田良三の昭和15年の日記、及び、昭和3年に幹部候補生として陸軍に入営した際の日誌も同時に発見しており、これらも今後『東京大学日本史学研究室紀要』上で翻刻・紹介する予定である。

「奥田良三日記 昭和十四年」

〔凡例〕

- 一 本「日記」の翻刻に際しては、基本的に原文に忠実に従うように努めたが、読みやすさを考慮して、句読点は適宜補足し、旧字は新字に改めた。
- 一 「日記」原文は基本的に片仮名表記であるが、固有名詞などで見られる平仮名の使用、及び傍線の使用については、原文ママとした。
- 一 「日記」原文に登場する人名は、推定可能な場合に限り、「」で名前を補い、適宜、登場時点での官職や奥田良三との関係を補足した。
- 一 誤記や一般的でない漢字表記に関しては、基本的に原文ママとし、適宜、「」で一般的な表記を補った。
- 一 「日記」原文に登場する、屋号または略字と推測される翻刻不可能な文字に関しては、■で表記した。

一月一日 日曜

昭和十四年支那事変第三年目ノ新春ヲ迎フ。齡、正三十七才ニシテ卯ノ歳ナリ。事変勃発以來、幾度カ応召ノ用意ヲセシニ、其ノ事ナク平穩ナル新春ナリ。
課員ヲ招キテ終日囲碁、麻雀ヲ楽シム。
降雨ノタメ困却。

一月二日 月曜

天氣良ク暖カキ日ナリ。朝食モ遅キタメ昼食ヲヤメ良彦〔奥田良彦 良三長男〕、博〔奥田博 良三次男〕二人ヲ連レテ箱崎宮参拜。官幣大社ノ大前ニ皇軍將士ノ武運長久ト家族一同ノ幸福トヲ祈ル。オ正月ニテ雑沓セリ。
良彦、計量セルニ四貫三百三十匁ニシテ以前ヨリアマリ増加セザルガ如シ。

一月三日 火曜

天氣良クナレリ。午后ヨリ子供ヲ連レテ、年玉トシテ蓄音器ヲ買ヒニ行ク。ビクター六十円ノヲ買ヒテ歸ヘル。夜ハ童謡ヲ聞カシム。

一月四日 水曜

天候悪シキタメ御用始メノ式ニ出席セズ静養。
県庁奥村〔利雄 福岡県經濟部地方農林技師〕君ヨリ電話アリテ、同氏宅ニテ麻雀ヲナスコトス。二回終了後、宮坂氏ノ案内ニテ大丸旅館ニ至リ麻雀。二回ヤリテ深更帰宅。湯ニ入りテ泊ルベキトコロヲ歸ヘリテ心残りアリ。

一月五日 木曜

寒風稀ニ見ル強サニテ天氣亦悪シ。全ク福岡ニテハ珍ラシキ寒サナリ。春日原競馬、本日ヨリ始マリ、視察ニ行ク。馬券ヲ買ヒテ少々損ヲナス。
森部〔隆輔カ 福岡県畜産組合聯合会長〕氏ノ案内ニテ三橋ニテ御馳走ニナル。内田〔豊三郎カ 福岡県種畜場長〕君ト諸所ヲ歩キ深更帰宅。

一月六日 金曜

定刻出勤。三善〔信房 立憲政友会所属〕代議士、農村ノ実情視察ニ来福。午后、博多商工会議所ニテ銃後農村対策ニツキ農会ヲ中心トシテ懇談会開カレテ之レニ出席。

一月七日 土曜

昼ガ短カク土曜日ハ執務時間少キタメ来客等アリテ多忙ナリ。早ク退庁シテユツクリス。

一月八日 日曜

天氣良キモ風強シ。昼頃ヨリ競馬ヲ見ニ行ク。今日ハ大分損ヲシテタ刻帰宅。泉君来訪。

博計量セル二三、二五〇匁。

一月九日 月曜

午后ヨリ經濟部課長會議アリ。夕刻ヨリ石炭鉱業會宴會、一方亭ニ在リテ、先ダチテ清流莊ニ於ケル県購聯ノ理事者ト夕食ヲ共ニス。一方亭ノ宴會ハ盛會ナリシモ一寸モ面白クナシ。

一月十日 火曜

農産物検査所出張所主任會議アリテ出席。

午后ヨリ種畜場ノ視察二行キ、フランスヨリ直輸入セル八千円トイフ種馬ニ乗ル。振り落サルトコロナリキ。生レテ初メテ種馬ニ乗り愉快ナリキ。帰ヘリテ■ニテ主任者ノ宴會ニ臨ム。

一月十一日 水曜

農産物検査所主任會議続行。明日ヨリノ會議用意及農務課機構改革ノ問題ニツキ係リノ者ト懇談。

農林省ヨリ販売改善課ノ安田〔善一郎カ 畜産局〕事務官ナド来福シ、夜ハ竹葉ニテ歓迎。終リテ真砂ニテ飲み、深更帰宅。

一月十二日 木曜

農林省主催九州飼料配給及鶏卵販売協議會、本県ニテ開カレ之ニ出席。午后ヨリ機構改革ノ問題ニテ中澤技師〔福岡県經濟部地方農林技師中澤孝、または同中澤薫カ〕ト懇談。

夜ハ新三浦ノ宴會ニ引續キ清流莊ノ宴會ヘ出席シテ、割合早ク帰宅。

一月十三日 金曜

三男誕生。

午前二時頃ヨリ少シ腹痛アリテ、三時頃自分モ起キ産婆サンヲ呼ビナドセル内、午前三時四十分前後、産婆サンノ用意モ充分出来ズ初湯ノ充分ワカヌウチニ出生、文字通り安産。他ノ子供三人ハ弟ノ一人フエタコトモ知ラズスヤ／＼ト寝テキル。

永岡ニテフクノ宴會アリ。早ク帰ヘリテ子供三人ヲ入浴セシム。体重四、〇〇〇瓦、身長五五厘、胸囲三四厘。

一月十四日 土曜

県農會總會アリ。出席シテ時局農村対策ニツキ県ノ態度ヲ表明ス。■ニテ午后三時頃宴會アリ。夜ハ畑山〔四男美〕新市長ノ招宴常盤館ニテアリ。出産第二日ニテ氣持チハ家ニ帰レルモ前知事ノコトトテ御馳

走ニナル。

一月十五日 日曜

天気良キ日曜日ナリ。午前中学校ニ行ツタリナドシテ子供ノオ守リヲス。午後乗馬ニ行キ帰途玉屋、岩田屋ニ行キテ、オ襦袢ソノ他買物ヲナシタ刻帰宅。子供、俊子〔奥田（旧姓森本）俊子 良三の妻。一九四一没〕共ニ元氣ニテ順調ナリ。

一月十六日 月曜

知事上京。公務閑散。農務課機構改革ニテ、ソノ仕事打合等アリテ免〔面〕倒ナリ。

一月十七日 火曜

久留米ニ於ケル米ノ会議ニ出席ノタメ早朝ヨリ出張。会場ノ用意ガ松源トイフ料理屋ニアリタルタメ出席セザルコトトシテ帰福。経済更生委員会改組。郡市委員会新設ノ問題等ニツキ時局対策係ノ打合会ヲ開キ、遅クマデ勉強。

一月十八日 水曜

八幡市ニ於ケル日本化成工業株式会社工場視察ニ出張、折悪シク雨天ナリシモ工場内視察。

午后ハ金属工業試験場視察。試験場新設ニハ特ニ苦心ヲ払ヘルトコロナルガ、本日ツブサニ場内ヲ視察シテ得ルコト多シ。山莊ノ茶屋ニテオソクマデ御馳走ニナリ夜十一時頃帰宅。

一月十九日 木曜

郡市農会幹事・技術員会議ヲ開キ之ニ出席。熱心ナ會議ナリ。夜ハニテ宴会アリ。生駒トイフトコロニテ二次会。

第七日目ニハ命名ノ筈ナルガ公私多忙ニテ本日命名出来ザリシハ残念ナルガ、赤ン坊ハ元氣ニ成育シツツアリ。家族一同元氣ニテ幸ヒナリ。

一月二十日 金曜

前日ニ引続キ農会関係會議開催。午后四時近クトナリテヤツト一段落。先日來暖カリシニ昨日ニハカニ寒クナリ、子供モ寒冒ニカ、リ、博、良彦兩人臥床ノ已モナキニ至ル。俊子モ未ダ出産後間モナク洵ニ困却。

一月二十一日 土曜

子供ノ世話ナドヲシテ出勤オソシ。用事一段落シテ、パンナドヲ買ヒテ帰宅。子供ノオ守リヲシナガラ、パンニテ昼食トス。レコードヲ鳴ラシタリシテオ守リヲス。

子供モ元氣ナ間ハヨキモ、一度ニ病氣サレテハ全ク困却。

良彦ハ耳ガ痛イト言ヒテヤカマシク中耳炎ノオソレモアリテ心配セシガ、ドウヤラ中耳炎デナク治リサウナリ。

一月二十二日 日曜

子供ノ病氣モ大分良イヤウニテ本日ハヤ、安堵セリ。

午后ハ国民精神総動員ノ農業報國運動ニツキ研究。

赤ン坊ノ命名ニツキテハイロ／＼苦心セル結果「彬」ト決定。

彬―文質備ハルノ意。命名ハ本人一生涯ノコトトテ常ニ苦心ニ苦心ヲ重ヌルトコロ。

一月二十三日 月曜

命名ニツキテハ

一、呼ビ易キコト、一、書キ難カラザルコト

一、一定ノ意味ノ存スルコト

一、性〔姓〕トノ関係悪カラザルコト

一、兄弟ニ何カノ関連アルコト

一、勝ツトカ他人ヲ対象トスルハ好マザルコト

以上ノ外イロ／＼考ヘ併セ決定スルモノニシテ苦心存ス。

昨夜ヨリ良彦、博兩人又発熱、午前中央病院ニ往キ診察ヲ受ク。

午后ハ農務課会議、終リテ山利デフクノ会食。

一月二十四日 火曜

良彦、博兩人共発熱尚高シ。俊子モ未ダ出産後十日余リ、女中ハ居ラズ子供二人病氣ニテ、良子〔奥田良子 良三長女〕モ無理ヲ言ヒ、赤ン坊ハ泣クシ全ク大変ナリ。博モアマリ無理ヲ言ハズ良ク自分ト寝ルモノナリ。博ヲダイテ寝ナガラ、子供一人作ツテ又博ヲ肺炎ナド得失ツテハ大変、ナドト変ナコトヲ考ヘナガラ夜ノ世話ヲナス。

県養聯評議員会。ミカドニテ会食。

彬ノ出生届出ヲナス。

一月二十五日 水曜

県養聯総会。良彦モ博モ本日ハヤツト熱下リ、良彦ノ如キハ朝ヨリ平熱ノ如ク、博モ殆ンド熱ナクナレルガ如シ。心配モ割合短時日ニテ結構ナリキ。

県養聯終了後中華園ニテ昼食。

退庁後玉屋ニテ傘ヲ求メ、帰宅スレバ良彦モ博モ起キテ走り歩キシ居タリ。

一月二十六日 木曜

嘉穂郡家兎剥皮実情調査ノタメ出張。兎肉トイフモノヲ兎肉トイフ名ノ下ニ食ベタノハ今日ガ初メテナリ。割合甘キモノナリ。帰宅後今日初メテ彬ヲ自分デ入浴セシム。産婆モ来宅シテ計量セルニ、一、〇六五匁ニテ生レタ時ヨリ少キヤウナリ、尤モ生後直後ノ分ハ少々ハ差異アリトノコトナリ。子供本日ハ氣持チ良ク遊ベリ。

一月二十七日 金曜

雑務多忙。

博本日又発熱ス。折角良クナレルニ又発熱シテ悲観。

良彦ハ身体モ良クナリ、充分用心ヲシタル上、本日暫ク振リニテ入浴セシム。

一月二十八日 土曜

第一農区菜種増産品評会、別館会議室ニテ開催、右副会長トシテ会長ニ代リ式辞ヲ述ブ。式終了后新三浦ニテ会食ス。帰途県庁ニ立チヨリ、紀元節農事功労者表彰者ヲ農務課トシテ決定。

博発熱続キニテ全ク不愉快ナリ。子供ノ病氣続クノハ最モ不愉快ナリ。本日入浴セズ、遺憾ナガラ彬モ入浴セシメズ。

一月二十九日 日曜

日曜日ナルモ、一日中、博ノコトバカリデ致方ナシ。自分モ亦疲労ト

二、三日來ノ寒氣トニテ風邪氣味トナリ、昨日来氣分悪ク本日モ引続キ静養。

彬モ入浴セシムルコト困難ナルヲ以テ、鹽ニテ充分注意ノ上行水セシム。子供四人目ナルモ常ニ入浴セシメ行水セシメタルハ今回初メテナリ。

一月三十日 月曜

風邪氣味ニテオソク出勤。二月一日参事会提案セラルベキ予算極メテ多ク、財務課ト折衝。氣分悪ク三時頃退庁、彬ヲ行水セシメ夕食ヲ早ク済セテ就寝。

一月三十一日 火曜

大体熱モナク氣分良シ。

彬本日モ行水、夜オソクナリテ自分ハ別ニ入浴シテ直チニ就寝。博、本日泣ヌ、大分良シ。植田老母〔妻俊子の実母。植田は森本家の在所〕帰省セラルルニツキ、土産ノ荷物ナドヲ作ル。

二月一日 水曜

植田ノ老母帰省ニテ、本日ハ稲八間〔森本家親戚〕・川井〔森本家親戚〕ヘノ土産ヤラ博多人形ノ買物ヲナス、切符ヲ買ツタリ準備忙シ。県参事会アリ。農務課提出予算多シ。老母四時十八分發退博。村上〔清嗣カ 福岡県經濟部農林主事補〕君ニ送ッテ貰フ。

帰宅スルニ博又發熱シ三本〔利一〕先生ノ来診ヲウク。原因不明。彬目方一、一三〇匁ナリ、余リ増加セズ。

二月二日 木曜

園芸審議会開催。

退庁後、渡辺〔瑞美カ 福岡県総務部総務課長〕、堀部〔千尋カ 福岡県総務部地方課長〕、後藤〔吉五郎カ 福岡県警察部特別高等課長〕ノ諸君ト、オそのニテ麻雀。深更終了。

博モ本日ハ大分氣分良クナリタルモノノ如ク、彬ハ一寸風邪氣味ノ如シ。麻雀シタシ彬風邪氣味ダシ、両方ノ意味デ本日彬ヲ入浴セシメズ。残念ナリ。

二月三日 金曜

博殆ンド熱モナク大体良クナレルモノノ如シ。

午前、部長〔福岡県經濟部長田村浩〕ト共ニ二日市農事試験場移転建築ノ状況視察。

午后、蚕糸業者会合、蚕繭処理統制ノ打合ヲナス。

彬ノ風邪氣味トカニテ原医師ノ来診ヲ受ケ、夜ハ寒イ中ヲ藥ヲ貰ヒニ行ク。乳児ガ出来テ一月足ラズデ医者ニ診テ貰フナド残念ナリ。幸ヒ風邪重カラズ。

二月四日 土曜

博大体良ク、彬モ心配スルヤウナコトナキガ如シ。

四時頃退庁シテユツクリス。子供ノ病氣モダン／＼良ク、ヤツト安心。博モ明日位カラ入浴セシメテモ良イヤウデアル。

二月五日 日曜

朝カラ天候悪シ。春日原ニテ去勢猶予馬ノ検査アリテ之ガ視察ニ出張、

午後二時過帰宅。

博ヲ久シブリニテ本日〔月〕初メテ入浴セシム。洵ニ氣持ち良キヤウナリ。

二月六日 月曜

昨日ヨリ時局精神作興週間ニテ、本日ハ庁員一同朝八時二十分県庁集合、住吉神社ニ祈願行進ヲナス。立春後本日ハ吹雪交リニテ、本年最初ノ嚴寒中、外套ナシノ行進ハ相当身ニコタヘタリ。

浮羽郡農産物検査生産検査員會議ニ臨席ノタメ吉井町ニ出張。寒サ身ニ沁ム。

帰途田主丸町⑦ニテ飲ミ八時頃帰宅、博ヲ引続キ入浴セシム。

二月七日 火曜

寒氣昨日ニ引続キ甚シ、寒風亦吹キコクリアリ。

農機具類配給統制ニ関スル九州プロツク會議、本県庁ニテ開カル。農林省ヨリ小林〔正一郎 農務局〕技師派遣セラレ、會議終了後永岡ニテフグノ会食ヲナス。

彬ノ寒冒モ大シタコトナク本日ヨリ充分注意ノ上入浴セシム。

二月八日 水曜

三潞郡農産物検査生産検査員會議、城島小学校ニ開催、検査所長〔福岡県農産物検査所長杉本重雄〕ト一緒ニ出張。

終了後、泉亭ニテ宴会。帰途杉本所長腦貧血ノヤウナ状態テタホレ、療養ノタメ二日市温泉ニテ途中下車、休養ノ上帰宅。子供ヲ入浴セシム。

二月九日 木曜

県庁モ出張シタリスルト公務多忙。長官〔福岡県知事赤松小寅〕ト經濟更生委員會ノコトニツキ打合ヲナス。

本日ハ女中ノ都合モ悪いタメ早く帰宅。彬モ良クナリ博モ元氣ニテ一安心。寒サモ少シヤハラギタリ。

二月十日 金曜

宗像郡經濟更生委員會初会合ニテ、係員ト共ニ出張。東郷町自治会館ニテ会合。

本日ハ前日迄ト全ク變ツタ天氣ニテ日本晴レノ小春日和ナリ。赤司〔てい 福岡での隣人〕サンノ娘サン結婚ニツキ、披露ノ意味ノ招待アリテ俊子御馳走ニナル。

二月十一日 土曜

天氣ノ悪い紀元節ナリ。式終了後、恒例ニヨル表彰伝達式アリ。

麻雀ヲ誘ハレタガ、彬ヲ入浴セシメネバナラスノデヤメテ帰ル。彬ハ先日風邪ニテ入浴セシメザルコト五日ニ及ビ、為ニオシリガ赤クナリ、出来ルダケ毎日入浴セシムルノ要アリ。大分注意セルモ未ダ完全ニ良クナラズ。

二月十二日 日曜

日曜日ナルモ、八女郡光友村ノ県ノ柑橘試験地起工式ニ臨場ノタメ早朝ヨリ出張。式終了後、福島町一口亭ニテ祝賀宴アリ。夕刻帰宅。例ニヨリ彬ヲ入浴セシム。彬ヲ出シタラスグ風呂ガモエナクナリ、他ノ者ハ入ラズソノ儘就寝セシム。

彬一月ニテ計量セル二一、二八〇匁ニテ増加率少シ。

二月十三日 月曜

浮羽郡経済更生委員会発会ノ協議会、田主丸町ニ在リテ、之ニ出席。
努メテ早く帰庁シ庁務ヲ整理シテ帰宅。女中居ラスタメ毎日閉口。

二月十四日 火曜

三井郡北野町ニ於ケル藁加工品販売生産統制協議会ニ出席。昼食後急
イデ帰庁シ、明日ノ県参事会予算ノ件ニツキ総務部長〔福岡県総務部
長服部直彰〕ト打合ヲナス。農業保険ニ関シ主事一名設置セラルコ
トトナリ安心。

彬ヲ入浴セシメツツアルモ、シリノ辺ノタバレ未ダ完全ニナホラス遺
憾ナリ。

二月十五日 水曜

午前中、分村計画ノコトニツキ関係課僚打合会ヲ開ク。
森君岡山県ヨリ来訪アリ。三橋ニテフクヲ食フ。午后畜産組合聯合会
ノ総会ニ出席シ、退庁後久シブリニテ乗馬ニテ帰宅。

二月十六日 木曜

経済更生特別助成町村協議会開催。
社寺兵事課ノ依頼ニヨリ、午后ヨリ急遽英彦山神社祀年祭供進使トシ
テ参向スルコトトナリ、午后ヨリ出発。夜八時過、英彦山白梅旅館ニ
投宿。
宅ニテ子供ノ写真ヲ撮ル。

二月十七日 金曜

稀ナル快晴ナリ。福岡ヨリ余程寒シ。例ニヨリ日ノ御子ヲ祭レル英彦
山神社ノ神前ニ額ヅク。
夕刻帰宅。英彦山ニ参レバ近ク榮転アルトノコトナリ。如何？ 帰宅
セルニ疲労度ヲ過グ。

二月十八日 土曜

午后乗馬。夜食事進マザリシトコロ、朝方ヨリ下痢シ閉口。

二月十九日 日曜

旧正月一日ナリ。稀ナル快晴ナルモ、下痢セルタメ断食ナドヲシテ元
氣ナシ。女中モ居ラスタメ、一日中家ニアリテブラ／＼ス。午后ヨリ
夕方ニカケテオ粥食ヲナス。

二月二十日 月曜

下痢ニテ元氣ナク一日中県庁ヲ休ミテ静養。矢柴〔信雄カ 福岡県警
察部労務課長〕君愛児ヲ失ヘリト聞ク。同情切ナルモノアリ。

二月二十一日 火曜

公務ヲイロ／＼片ヅク。宴会アルモ下痢ノタメ失礼シテ帰宅。

二月二十二日 水曜

〔田村造〕経済部長、上京後十日振りニ本日帰庁、二三不在中ノ事及
人事問題ニツキ打合。

農林省ヨリ小山〔正時カ蚕糸局〕事務官、講習会ノタメ来福。新三浦ニテ粗宴ヲ張ル。宴会アルモ彬ヲ入浴セシムルタメイツモ早く帰宅。

二月二十三日 木曜

朝倉郡経済更生委員会創立ノタメ、本日甘木町ニ出張。同ジコトヲ繰リ返ヘシ言フハ大変ナリ。月ノ家ニテ昼食。帰庁後事務整理ヲナシテ帰宅。コノ頃ハ県庁公務モナカク、勉強ナリ。夜ハ明日ノ農地委員会説明用意ノタメ十二時マデ勉強。

二月二十四日 金曜

正十時ヨリ農地委員会開会ノ予定ニテ早く出勤。駄弁ヲ弄スル者多ク十二時頃終了。直チニ八女郡経済更生委員会ニ出席ノタメ、福島町ニ出張。夕刻帰宅。快晴ニテ気持ち良イ天気ナリキ。

二月二十五日 土曜

茶業組合ノ会合アリテ大安ニテフグノ昼食ヲナス。本日ハ早速雨天ニテ閉口。彬ノ脇下ナドニ汗母出来テ、数日来困ツテキタガ、本日ナド大分良クナリタルガ如シ。

二月二十六日 日曜

朝ユツクリ起床。八女郡畜産組合主催馬匹鍛錬会アリテ出席。割合寒イ日デアツタガ、馬ノタメニハ相当ニ勉強セネバナラスノデ出張。少々街上騎乗ヲモナシ夜十一時頃帰宅。疲労シテ帰ヘツテ赤ン坊子供ヲ入浴セシムルノハ

閉口ナリ。

二月二十七日 月曜

京都郡小波瀬村ニ於ケル塩ト煙草ノ表彰式ニ出席。総務部長服部〔直彰〕氏母堂告別式アリタルモ遺憾ナガラ出席出来ズ。俊子、足ノ傷ヨリバイ菌入リタルヤウニテ中央病院三木〔利二〕氏ノ来診ヲウケ、氷ニテ冷スタメ夜オソク氷ヲ買ヒニ行ク。

二月二十八日 火曜

帰宅後咽喉イタク風邪気味ノタメ、彬ヲモ入浴セシメ得ズ就床。夜中熱ニウナサレタルヤウニテ熟睡出来ズ、ウツラ／＼トシテ過ス。

三月一日 水曜

朝頭重ク何事モ嫌ニナル。久尾〔啓一カ東京都学務部学務課長良三と東大・入省同期〕君上海へ行クトカニテ博多ニ立チヨリ、朝電話アリ。計量セルニ熱三十九度五分アリ。ビツクリシテ三木〔利二〕氏ノ来診ヲ求メ、午后二時頃来ラレ扁桃腺トノコトナリ、生レテ初メテ扁桃腺ヲ患フ。一日中薬ヲ吞ミテ養生。産婆サンニ頼ミテ彬ヲ入浴セシム。一日入浴セシメネバシリ、フトモ、ナド、タゞレヒドクナルカラナリ。

三月二日 木曜

服薬ノタメ殆ンド解熱、一日中就寝静養。彬ハ江口サンノ奥サンヘ頼ミテ入浴セシム。

三月三日 金曜

朝ヨリ離床。熱殆ンドナシ。夕刻奥村〔利雄 福岡県經濟部地方農林技師〕、東〔房太 福岡県經濟部属〕両君来訪、事務打合ヲナス。彬ハ俊子ト二人ニテ入浴セシム。

三月四日 土曜

普通ニ起床。但シ県庁ヲ休ミ静養。糸島郡北崎村ヨリ新シイ女中來ル。数日ブリニテ入浴、早ク就寝。

三月五日 日曜

本日ハ鬱陶シク閉口。頭ガイタクテ仕方ガナイノデ、子供ヲ連レテ紅葉山八幡宮ニ参拝。ナミ風モアリテ寒シ。頭ノイタサ治ラズ。曾根〔俊一カ 福岡県經濟部地方農林技師〕君来訪。

午后就寝セルニ、矢張り右ノ方ノ扁桃腺ハレテ熱七度五分迄上ル。悲觀シテ服藥、ウガヒヲナス。

三月六日 月曜

遺憾乍ラ引続キ欠勤静養。

Life is short, art is long ナドイフコトヲ寝ナガラツクゝ味ハフ。午后ヨリ熱モ下リ気分モ治ル。

三月七日 火曜

気分モ恢復セルニヨリ、自動車ニテ出勤。農機具配給統制ニ関スル打合会開催ニテ之ニ出席。久シブリニテ初メテノ出勤ノタメ疲労シ、退庁時ト共ニ退庁。

三月八日 水曜

乾繭組合講習会、本日ヨリ三日間開催。本日ハ昨日ヨリ余程気分良クナレルモ未ダ充分ナラズ。

扁桃腺ハ全身ノ疲労ヨリ來ルト聞ク。自分モ昨年末以來疲労順次自覺シツツアリタルトコロニテ尤モウナヅカル。当分静養ノ必要ヲ感ズ。

■ニテ宴会アリタルモ簡單ニスマセテ帰宅。

三月九日 木曜

漸次身体ヲ回復シツツアルモ、未ダ目方十四貫八百匁位ニシテ平素ヨリ数百匁不足セリ。殊ニ夜安眠出來ヌノデ困却。

本日ハ三瀧郡荒木村經濟更生特別助成村宣誓式アリテ部長ト共ニ出席。夜ハ消化藥ヲ服藥シテ就寝。

三月十日 金曜

三瀧郡江上村特別助成宣誓式ニ臨席。緊張セル立派ナ式ナリキ。夜ハ久シブリニテ博ト共ニ寝ル。大分暖クナレルモ連日降雨ニテ閉口。

三月十一日 土曜

引続キ降雨。早く起床セルタメ早く出勤。早く退庁、宅ニテユツクリス。

三月十二日 日曜

天気悪シ。仕方ノナイ日曜日ナリ。一日中ブラ／＼ト過ス。彬ノ写真ヲ撮ル。樋口技師来訪。

三月十三日 月曜

十五日ノ参事会ヲ控ヘ、予算ノ要求ヲスルタメ本日在朝〔庁〕。一月
ニ二回ツツ予算ノ免〔面〕倒ナコト起リ閉口。

三月十四日 火曜

病害虫駆除予防優良団体知事表彰式挙行。引き続キ富民協会表彰伝達
式挙行。

十五日ノ予算打合ニテ茶ノ振興費ト飼料技術員一名増員認メラレ、久
シブリニテ氣ヲ良クス。

三月十五日 水曜

県参事会開カル。参事会終了後、朝倉郡養蚕業組合繭質改善表彰式ニ
臨席。全ク多忙ナリ。夜八月ノ夜ニテ宴会アリ。夜オソク帰宅。

三月十六日 木曜

〔田村浩〕経済部長、昨日飛行機ニテ帰庁シ、本日八午前中事務打合
ヲナス。午后ヨリ東〔房太〕君ト同道、羽犬塚町ニ茶業試験地ノ視察
ニ行ク。岡山村等アチコチ視察後、福島町一口亭ニテ夕食。夜オソク
マデ痛飲、深更帰宅。

三月十七日 金曜

農会技術員会議開催。米穀生産増加、労力調整ナドニツキ協議。東京
へ事務打合ニ上京ノコトニナル。午后ヨリ築上郡ニ出張、八屋町築上
館ニ投宿。
スキヤキニテユツクリト夕食。

三月十八日 土曜

葛城村経済更生宣誓式ニ出席。神前ニテ宣誓ノ意義深キヲ感ズ。天気
良シ。

夕刻帰庁。

三月十九日 日曜

日曜日ナルモ久留米市ニ於ケル上浦〔種一〕大日本報徳社講師〕氏報
徳仕法ノ講演ノ挨拶ヲ兼テ聴講ニ出張、夕刻帰宅。
先日來タ女中、遽カニ帰ヘツタトカニテ困却。

三月二十日 月曜

本夜出発、上京ノコトトス。留守中処務整理ノタメ全ク多忙ナリ。賀
來氏來訪。久シブリニテ簡單ナ昼食ヲ共ニス。
庁務ヲ終ヘテ帰宅、彬ヲ入浴セシメテ後出発。山川〔寛〕鉄道省門司
運輸事務所長 良三と三高・東大同期〕君ノオ陰ニテ寝台ヲ得、ユツ
クリ上京。

三月二十一日 火曜

一日中車中ニテ、退窟〔屈〕オビタダシ。学士会館ニ投宿セントセル
モ部屋ナク、常宿東岳館ニ投宿。久シブリニテおでんヲ食フ。

三月二十二日 水曜

偕行社ニ行キテ後、十時頃農林省ニ出頭。公務打合ニ全ク多忙。午后
内務省ニ行ケルモ石井〔政一〕大臣官房文書課長 奈良県出身〕氏モ
不在。小雨アリテ已ムナク早ク帰宅。

早朝靖国神社ニ参拝、護国ノ英靈ニ低頭。

三月二十三日 木曜

昨日ト異リ風強キモ天気晴朗ナリ。午后久シブリニテ篠原〔英太郎カ元・内務次官〕氏ヲ訪フ。久尾〔啓一カ東京都学務課長〕君ニ会フ。夜、米久ニテ中澤君ト牛肉ニテ夕食ヲ共ニス。

三月二十四日 金曜

午前中大体用務ヲ終ヘ、昼石井氏ヲ訪ヒ帝国議會ニ行キテ昼食ヲ頂ク。林〔信夫〕衛生局長、矢野〔兼三富山県〕知事ナド会ヒタキ人ニ会フ。午后用務全部終リテ後、日本劇場ニテ活動ヲ見テ夜十一時過離京。忙ハシキ三日間ナリキ。

三月二十五日 土曜

朝名古屋着。吉江〔勝保愛知県経済部農務課長 良三と三高・東大・入省同期〕君ヲ訪フ。山本氏ニモ会フ。吉江君ト森部〔隆 愛知県総務部長〕氏トニ昼食ヲ觀光ホテルニテ御馳走ニナリ、関西線ニテ郷里ニ向ヒ、夜七時老母〔奥田つね 良三の実母〕ノ待チ居ラルル自宅ニツク。

雨降りテ道悪ク、良イ靴台ナシナリ。

三月二十六日 日曜

午前中、米澤、仲両君ノ護国英靈ニ参拝、氣ノ毒ナ家庭事情ニ同情ヲ禁ジ得ズ。

上総ノ伯母〔妻俊子の伯母〕ヒヨツコリ来訪セラル。夕刻遽カニ氣ガ

変リ急ギ帰庁ノコトトシ、夜八時三十分大阪発急行ニテ出発、寝台アリテ都合良シ。

三月二十七日 月曜

朝早く下ノ関下車、海峡ヲ渡リテ門司ニテ手紙〔農政課長〔農務局農政課長梶原茂嘉〕ヲ書ク。帰宅セルモ疲労セルヲ以テ県庁ニ出ナイデ静養。

夜ハ早く就寝。

三月二十八日 火曜

蚕糸祭ナリ。午前中、表彰式ナド挙行。正午、五港食堂ニテ祝賀ノ粗宴ヲ張ル。午后、久シブリニテ県庁用事ニ多忙ナリ。清流莊ニテ審査員連中ノ慰勞晚餐会アリ。

三月二十九日 水曜

経済更生委員会初会合。初メテノ会合ニテ関係者多数集合。午后ヨリ各部会中経済更生部ト生産計画部ノ部会ヲ開ク。山川〔寛カ 門司運輸事務所長〕君来訪、永岡ニテ食事ヲナス。

三月三十日 木曜

糸島郡野北村経済更生特別助成村宣誓式ニ出席臨場、急ギ帰庁シテ午后ノ耕種改善委員懇談会ニ出席。

三月三十一日 金曜

三井郡農事組合大会ニ出席。咽喉ヲ悪クシ風邪氣味ナルモ致シ方ナシ。

多数ノ農業者集合、盛会ナリキ。片倉製糸ノ尾澤〔金一カ 4月に片倉製糸監査役就任〕君送別会ヲ新三浦ニ開ク。身体疲労シ早ク帰宅。

四月一日 土曜

八時庁務開始ニテ朝忙シ。午后早ク帰宅。
九州日報社主催聖戰博見物。

四月二日 日曜

折角ノ二日続キノ休ミナルニ雨天ニテ致方ナシ。俊子先日來齒ヲ悪クシ齒科医師ニ通フ。彬ハ割合泣カズ寝テキルノデ樂ナリ。

四月三日 月曜

花モ大分開キ、本日ハ良キ天気ナリ。午前中俊子医者ニ通ヒ、ソノ間留守ニテ家ノ掃除ヲナシ、午后、良子外子供二人ヲ連レテ散髪ヲナサシム。明日ヨリ幼稚園ニ通学セシムルコトトス。
彬計量セルニ一貫八百匁ナリ。

四月四日 火曜

三池郡飯江村經濟更生宣誓式ニ出席ノタメ早朝出発。飯江村ハ如何ニモ貧弱村ヲシイ村ナリキ。帰途、檀〔幹一〕県議ノ親類先ナル山川村園田氏宅ニ寄り、碁盤ヲ見ル。
船小屋温泉ニテ夕食ノ後、夜遅ク帰宅。

四月五日 水曜

小浜〔八弥〕農務局長一行來福、ソノ準備ノタメ彼此ト用務多シ。

花咲ク頃トナリテ、今年ハ寒サ特ニ甚シ。

四月六日 木曜

雜務多忙ナリ。

四月七日 金曜

宗像郡吉武村特別助成村宣誓式アリテ之ニ出席。三百個〔戸〕ノ小村ナルニ立派ナ小学校ヲ持テリ。午后農務局長一行ヲ二日市駅ニ迎ヘ、大丸旅館ニテ夕食ノ会食ヲナス。夜オソク帰宅。

四月八日 土曜

午前九時ヨリ局長一行ヲ迎ヘテ庁内協議会アリ。朝早ク相当ニ困レリ。會議ハ午前ヨリ午后ニ互リ、終了後、西公園、箱崎宮太宰府ヲ案内、大丸旅館ニ行ク。花ハ満開ニテ西公園ナド特ニ賑ヘリ。羨マシキコトナリ。

九時過警戒警報発令サレ、自動車ニ歸ヘルノニ難儀セリ。良彦誕生日ナルガ致方ナシ。

四月九日 日曜

前日ニ引続キ産業關係団体長會議ナリ。午前中ニテ終了。午后県内養蚕業關係者ノ会合ヲ開ク。
桜花満開、天気亦晴朗、洵ニ惜シキ日曜日ナリキ。散髪ヲナシ帰宅セラルニ、警報続行中ニテ困却。

四月十日 月曜

雜用多忙。

午后ヨリ奥村〔利雄〕君、東〔房太〕君両君ノ慰勞会ヲ福島ニテ開ク。
深更帰宅。

四月十一日 火曜

農會記念日ニテ、県農會ニテ自祝ノ宴アリ。昼食後飯塚市ニ於ケル競馬視察ノタメ出張。飯塚ヨリノ帰途、八木山峠ニテ自動車故障ニテ動かズ、飯塚ヨリ三時間ニテ帰宅。

四月十二日 水曜

残務整理。降雨アリ。佐世保市ニ於ケル海軍ノ慰靈祭ニ出張。

四月十三日 木曜

佐世保市海軍凱旋記念館ニテ、本年二月豊後水道ニテ演習停止中、他ノ潜水艦ニ衝突セラレ即時沈没セルタメ乗組員八十一名潜水艦ト共ニ沈メル、伊号六十三潜水艦殉職者葬送式ニ知事代理トシテ臨席。
遺族ガ前ニ列ベルノヲ見テ心中察スルニ余リアリ。古海〔正雄カ〕君ト一緒ニナリ車中一緒ニ帰ヘル。

四月十四日 金曜

家畜保險組合職員ノ家畜保險事業ニツイテノ研究協議会ヲ開ク。家畜保險ハ必要ヲ力説シオケリ。

本日ハ一般公務閑散ニテ一寸ユツクリセリ。

彬昨日ニテ満三ヶ月ノトコロ、都合ニヨリ本日計量セルニ一貫八百五十匁アリ。良彦一貫八百六十匁、博一貫八百匁ナリシトノコトナリ。

良彦、博兩人三ヶ月目ニ病氣セルモ、彬ハコノ月モ元氣ニテ本月ノ増加割合多カリキ。

四月十五日 土曜

蚕糸關係者ノ春繭増産計画ニ関スル協議会開催。ナカ／＼熱心ナル会合ナリキ。

「サイコン譚」ノ注釈ヲ読メルニ「省心、省事」トイフコトアリトイフ。心ニ銘スベキノ格言ナリ。

午后ヨリ奥村〔利雄〕、東〔房太〕、両君ト共ニ二日市筑紫館ニユキ、ユツクリ飲ミテ深更帰宅。

四月十六日 日曜

乗馬ニ行クベキトコロ、天氣悪ク亦女中モ居ラズシテ家ノ都合モアリ乗馬中止。

郷里ヨリ岩崎〔岩崎石鹼工業部 岩崎秀カ〕君來訪。久シブリニテ当地ニテ郷里ノ人ニ会フ。新三浦ニテ昼食ヲ御馳走ス。降雨アリテ閉口。折角ノ日曜日ナルニ天氣悪クテ仕方ナシ。

四月十七日 月曜

公務繁忙。赤松〔小寅〕長官京都府知事トシテ榮転。知事ノ勇退者モ相当アリテ、引続キ部長級異動モアルガ如シ。ヤ、活氣ヲ呈ス。

岩崎君小倉工廠ニ案内スルタメ、大橋〔峰吉カ 福岡県經濟部屬〕君ニ頼ム。

四月十八日 火曜

病虫害駆除予防協議会開催。午后ハ特ニ時局ニ関スル打合会ヲ開ク。
終了後県農会トノ懇談会ヲ大安ニテ開ク。痛飲馬食。

四月十九日 水曜

京都郡ニ於ケル郡農会主催ノ会合ニ出席ノタメ行橋町ニ出張、子供ヲ
入浴セシムル等ノ用事アリテ夜オソク出発。終列車ニテ九州館ニ投宿。

四月二十日 木曜

午前、行橋町公会堂ニ於ケル農事組合長経済更生委員会大会ニ出席、四
百人前後ノ出席者アリテ実ニ盛会ナリキ。

一時間半ニ互リテ講演ヲナス。午后ハ農乳状況視察、最近郡当局ノ努
力ト県援助トニヨリ盛ニナリツツアリ。

京都館ニテ宴会後九州館ニテ開基ヲナシ、深更帰宅。

四月二十一日 金曜

待望ノ地方書記官異動昨日発令ナリタルガ、自分ハ今回ソノ選ニ入ラ
ズ遺憾至極ナリ。同僚ノ連中モ今回十数名任官アリ。当県ヨリハ渡辺
〔瑞美 総務課長〕君沖繩県ニ榮進ス。暫ラク自重スルノ外ナシ。

四月二十二日 土曜

新知事〔児玉九一〕着任。午后、庁員一同ニ訓示アリ。連中ト久シブ
リニテ学士会館ニ行キ麻雀ヲナス。自分ハ断然トツプナリ。終了後岩
戸屋ニテ鳥肉ノスキヤキヲ食フ。

四月二十三日 日曜

午前六時五十分出発、〔田村造〕経済部長ト共ニ三池郡ノ新嘗祭献穀
田地鎮祭ニ臨席。帰途、端間付近ニテ電車火災アリテ閉口。午后ハ二
時ヨリ開会ノ県下蚕糸業大会ヲ司会シ、清流荘ニテ宴会。一方亭ニ於
ケル赤松知事ナドノ送別会、更ニ二日市大丸ノ吉田〔清二〕蚕糸局長
歓迎会ニ出席。深更帰宅。全ク多忙、盛り沢山ノ日曜日ナリキ。

四月二十四日 月曜

知事部長異動ニテ送迎ニ遑ナキコトナル。夜八時過頃ヨリ渡辺〔瑞
美〕君送別会おそのニ開ク。深更ニ至ルマデ痛飲。連日ニテ疲労。

四月二十五日 火曜

靖国神社臨時大祭ニテ諸官員休暇ヲ賜フ。本日ハ赤松〔小寅〕知事出
発サレ門司マデ送り、五時七分、田村〔浩 経済〕部長長男応召出発
ニテ博多駅ニ送ル。此ノ頃ハ日曜日モナク致方ナシ。田村部長ノ心中
同情ニ堪ヘズ。

四月二十六日 水曜

知事、部長不在ニテ御真影ノ伝達式ヲ知事ニ代リテ之行フノ光栄ヲ
担フ。招魂社祭典ナルニ降雨アリ。午后ヨリ築上郡ニ出張。郡は神保
〔喜久 郡は製糸宇島工場長〕君ノ案内ニテ中津市ニ遊ぶ。
朝、渡辺〔瑞美〕君ノ出発ヲ送ル。沖繩行キハ氣ノ毒ナリ。

四月二十七日 木曜

築上郡養蚕業大会ニ出席。来会者少キモ熱心ナリキ。三十分程講演ヲ
ナス。此ノ頃講演モ大分上手ニナレリ。終了後築上館ニテ会食ヲナシ、

夕刻帰宅。

四月二十八日 金曜

公務閑散。奥村〔利雄〕、東〔房太〕両君ト泉ニテ「鯛」ノ料理ヲ食フ。満腹。

四月二十九日 土曜

天長節拝賀式。式終了後、部長ト〔児玉九一〕知事ニ面接。国民馬事訓練所設置問題ニツキ説明。知事ノ諒解ヲ求ム。帰途、池田齒科医院ニヨリテ齒ノ治療ヲ受ケ、午后ハ寝ムクテユツクリ昼寝ヲナス。

四月三十日 日曜

終日降雨続キニテ何トモ致方ナシ。

明日ヨリ五月トナル。

「言葉少ナニ落チツイテ」ヲモットートシテ行カン。

五月一日 月曜

若葉スガ／＼シ。コノ頃又相当動員アリト見エ出征者多シ。

地方長官会議本日ヲ以テ招集サレ知事上京中ナリ。

初摺業組合ノ総会アリテ大安ニテ会食ヲナシ、後、満月トカニテ高橋

〔権六〕県会議員ト飲ム。

五月二日 火曜

〔田村浩〕経済部長北支、満洲視察ノコトトナリ、大体内務省ノ命令モアルガ如シ。知事不在ニテ公務閑散ナルモ、時局関係肥料、農機具

類ノ統制ニハ閉口ナリ。

夜ハ〔渡部宏綱 総務部〕財務課長ト予算協議ヲナシ、終了後竹葉ニテ飲ム。深更帰宅。

五月三日 水曜

嘉穂郡農事組合長大大会ニ列席。炭坑景気盛ナリ。農産物増産計画ニツキ講演ヲ行フ。夕刻帰宅。

五月四日 木曜

三瀧郡経済更生委員会ニ出席。会議終了後、山門郡瀬高町、檀〔幹一〕県会議員宅ニ至リテ囲碁、深更ニ及ブ。終電車ニテ帰宅。

五月五日 金曜

端午ノ節句ナリ。彬誕生ニツキ本年モ鯉幟ヲ立テルコトトス。九州各方面ヨリ福岡市ニ分宿セシ各部隊、順次博多港ヨリ出征ノ途ニ上ル。

五月六日 土曜

久シブリニテ乗馬ス。富永〔重男カ 福岡県經濟部地方商工技師〕君ト共ニ練兵場ニ至リ春日ノ午后ヲ愉快ニ過ス。三時半頃ヨリ夕刻マデ学士会ニテ麻雀。

五月七日 日曜

割合天気モ良ク、気持チ良キ日曜日ナリ。家族ハ大濠公園ニ開催中ノ聖戦博見物ニ行キ、留守番ヲナス。一日中ユツクリトス。

五月八日 月曜

中尾〔桂一郎 畜産局〕畜政課長来県セラレ、種畜場ヲ視察セラル。
午后、新三浦ニテ昼食ヲ共ニス。夕刻、郷里香椎ニ帰ラル。
博多港ヨリノ出征続ク。本日ハ出征者ト帰還者ト県庁前ニテ落ち合ヒ
感慨無量ナリ。

五月九日 火曜

〔田村浩〕經濟部長明日ヨリ満支旅行ニテ、本日ハ最後ニ二三事務的
打合ヲ行フ。

五月十日 水曜

早良郡金武村ニ於ケル新嘗祭供御祭田地鎮祭ニ出張、時間勵行セズ閉
口。

稀ナル日本晴ニテ氣持チ良シ。午后ハ經濟更生指定町村協議会開會。

五月十一日 木曜

經濟部長不在ト、来ル十三日ヨリノ出張トニテ公務多忙。久留米市畜
産組合ノ問題ニテ市産業課ノ来庁ヲ求メ協議。県トシテノ方針ヲ定ム。

五月十二日 金曜

明朝出發ニテ公務多忙。

本年ヨリ肥料統制実施ニテ、ソレニ関シ肥料配給不円滑ナルノ虞アリテ、関係団体ノ者集合相談ヲ行フ。

肺病ヂヤナイカトノ懸念アリテ、当市ノ權威三木〔利一〕博士ノ診察
ヲ受ケ、特ニレントゲン写真、血液検査ヲモ受ク。別ニ異状ナイトノ

コトナリ。

五月十三日 土曜

十五日ヨリノ馬事主務課長會議出席ノタメ、降雨ノ折早朝起床、六時
半博多発ノ急行ニ乗車。珍ラシク三等ヲ利用、門司ヨリモガラ空キニ
テ三等ナガラユックリス。昼間旅ハ退屈〔屈〕ナリ。老母〔奥田つ
ね〕健在、例ニヨリ停留所マデ迎ヒニ来ラル。今日ガ一番ウレシキ日
ナリ。入浴シテ寝ニツク。
留守中彬計量セルニ二貫目ナリキト。

五月十四日 日曜

朝、大和粥ニ舌鼓打ツ。老母ハ稲八間〔森本家親戚〕ノ葬式ニテ一足
先キニ出發、自分ハ午后一時半京都発ノつばめニ乗車。淳治〔川中淳
治 奥田家親戚〕君と囲碁、つばめノ快速ニテ氣持チ良シ。
九時東京着、例ニヨリ東岳館ニ投宿。

五月十五日 月曜

馬事主務課長會議ナリ。時間ヲ勵行セズ、内容モ昨年會議アリタルト
コロニテ、會議ハ至極低調、從ツテ質問モ意見モノベザルコトトス。
崎田〔義雄 經濟更生部総務〕課長ニ挨拶ヲナシ、昼食ヲ東京駅ホテ
ル食堂ニテ御馳走ニナル。

自分ノ誕生日ナルガ、後ニナリテ思ヒ出シタル程度ナリ。
夜ハ早く旅館ニ帰ヘリ就寝。

五月十六日 火曜

前日ニ続キ會議続行。種馬統制等、本県ニハ關係モ少ク興味モ薄シ。早ク歸ヘリ夜ハブラ／＼散歩ニ出ル。

博多出発ノ時ハ暖ク、特ニセル単衣マデ持參セルニ、関西ヨリ関東ニカケテ未ダ寒ク、セルデハ寒イ位ナリ。先日來、喉ノ下ノ髭剃リノ後ヨリバイ菌入り、イタミテ夜モ熟睡出來ズ。

五月十七日 水曜

腫物痛ミ堪ヘガタク、本日ハ思ヒ切ツテ帝大附屬病院ノ診察ヲ受ク。卒業後初メテ帝大内ニ入り、内容ノ變更ヨリモ外觀整備セルニ一驚。自分等ノ學生時代ハ震災後ノ文字通りノバラツクナリシニ、今ハ立派ナ洋館隨所ニ建築。帝大卒業ノ時、父〔良三の実父〕日記執筆時点では死去〕ガ迎ヒニ來ラレテ学内ヲ案内シ、安田講堂ノ塔上ヨリ四方ノ景色ヲ指呼シテ説明セシコト、夢ノ如ク十二年前ナリ。

五月十八日 木曜

引続キ夜ハ熟睡出來ズ閉口。手当てハビツク、湿布、テラポール飲用ノ三ツナリ。昨日梅毒ノ血液検査マデセラレテ閉口。気分悪ク午前中出席、午后帰宿静養、熱モ七度三四分アリ、〔中尾桂一郎 畜産局〕畜政課長ノ案内モダシガタク、義理ヲカクタメタ食ヲ御馳走ニナル。全クノ「有リガタ迷惑ナリ」、自分等モ注意スベキコトナリ。

五月十九日 金曜

モウ一度病院ニ行キ、手当て方法ナドヲヨク聞イテ歸ヘルコトトス。帝大構内ノ樹木ウツサウトシテ氣持チ良シ。内務省農林省ニ打合せノタメ出頭、石井〔政一〕内務省大臣官房文書

課長〕氏ニモ会フ。都合ニヨリ本日離京ノ特急券ヲ変換、明日ノつばめニテ退京、一日更ニ在京ノ上静養。

書物モ大分買ヒ求ム。

フィルムヲサガセルモ何処ニモナシ。

五月二十日 土曜

朝九時発ノ特急つばめニテ退京、今度ハ年末マデ上京ノ機ガナイト思フト一寸淋シイ氣持チトナル。腫物ノ痛ミモナクナツテ來タガ、湿布ダケハシテカヘル。夕刻六時帰宅。ユツクリト入浴ヲナシ、老母〔奥田つね 良三の実母〕ト一緒ニ寝ニ入ル。

五月二十一日 日曜

天氣アマリ芳シカラズ。午后ヨリ老母〔良三の実母〕ト共ニ植田ヲ訪ネ、老父〔妻俊子の実父〕ノ病氣ヲ見舞フ。植田ノモ皆ナ元氣デ安心。午后ハ天氣良クナリ、父上〔妻俊子の実父〕ト茂樹〔森本茂樹 妻俊子の実兄〕君ト二人デ祝園駅マデ送ラル。帰途、奈良ノ姉〔妻俊子の実姉カ〕ヲ訪ヒ、夕食ヲスマシテ帰路ニツク。

郡山奈良トイロ／＼サガセルモフィルムナク、折角カメラヲ持チ歩イテ今回ハ仕方ナカリキ。

五月二十二日 月曜

本日郷里発、帰庁ノ途ニツク。朝出發ノ予定ノトコロ、折角ノ機会ダカラユツクリシタイノト昼間旅行モアキタノト両方ニテ、夕刻ノ大阪發ニ乗ル。寝台ナカリシモ車中ハユツクリセリ。大阪ニテ阪急百貨店ニテおこしナドヲ買ヒオク。

郷里ヘカヘルトキハ嬉シキモ、出発スルトキハイツモ後髪ヲ引カルル如キ心地ス。

五月二十三日 火曜

朝帰宅。自分ノ留守中、良子、良彦二人共麻疹ニカ、リ居リタル如ク、良子ハハモウ全治シ、良彦モ安心トイフトコロマデナホリ居レリ。只、博ガ機嫌悪ク、ドウヤラ伝染シタラシ。彬ハ福日ノ赤ン坊会ニ出テ三等賞、肥ヘスギル位太ツテ發育良キモ、皮膚白ク弱キ感アルノガ欠点ナリシトイフ。

家ニ在リテ静養。

五月二十四日 水曜

久シブリニテ登庁。知事モ不在ニテ致方ナシ。留守中ノ事務整理ヲナシ、夕刻早く帰宅。

五月二十五日 木曜

〔児玉九二〕知事ニ復命ヲナス。昼食前後ユツクリト話ヲナス。午后四時過ヨリ農務課事務説明ヲナス。

博ハ一昨日来感冒カハシカハツキリセズ、熱モ上ツタリ下ツタリセルガ、本日、赤司〔てい〕サンノ注意ニヨリ夕刻ヨリ暖クシテ寝サシム。夜通シ機嫌悪ク、俊子モ閉口シ居リタルカ如シ。

五月二十六日 金曜

午后ヨリ久留米競馬見物ニ出カク。夕刻帰ヘルト博ノ麻疹モ愈々間違ヒナキガ如ク、機嫌モ亦悪シ。

五月二十七日 土曜

博ノ麻疹、本日ヨリ明日ニカケテ最モ盛ナリ。薬ヲ中央病院ヨリ貰ツテ来ル。土曜日ナルモ早く帰ヘリテ家事手伝ヲナス。全ク閉口ナリ。天気晴朗ナリ。

五月二十八日 日曜

引続キ博ノ麻疹ニテ日曜日ナルモ致方ナシ。良子ハ案外軽ク、良彦ニテ一寸重クナリ、博ハバツト出ズ特ニ重イガ如シ。身体ノ抵抗モ弱イタメカ今夜ナド特ニ甚シ。

本日ハ俊子モオ乳ノ腫物痛ンデ閉口シ居リ。良彦モ麻疹ハ良クナレルモ一寸亦熱出デ、幼稚園モ休ミ静養。

五月二十九日 月曜

良彦ハ扁桃腺悪キガ如ク、博ノ分ト共ニ中央病院ヨリ薬ヲ貰フ。俊子モ腫物ニ弱リ、本日ハ彬ノ種痘ヲ臨時的ニ受ケントセルモ都合悪シ。本日ハ県ニテ蘭協定委員会、農産物検査所支所長会議アリ。農務課関係ニツノ二大制度改正ニ関スル会議ナリ。全ク愉快ナリ。検査所ノ連中ト八百重ニテ会食。

五月三十日 火曜

良彦ノ方ハ本日ハ熱モ下リ快方ニ向ヘリ。博ノ麻疹ハ一寸出ルガ遅レテ日曜月曜位ガヒドカリシガ、本日ナド大分快方ニ向ヘリ。只無理ヲ言ツテ閉口。

五月三十一日 水曜

〔児玉九一〕知事、〔田村浩 経済〕部長不在ニテ公務閑散。良彦ハ良クナリ博モ漸時良シ。彬ハ毎日入浴セシム。彬モコノ頃ハ起シテ貰ハスト泣クノデオ守リモ手間ヲ取ル。俊子モ腫物ノ方ハ昨夜位マデニテウミモ出テ、漸時快方ニナル。

六月一日 木曜

六月トナル。初夏ナリ。

早良郡金武村ノ粟献穀田播種祭行ハレ、〔児玉九一〕知事ニ随行出張、ダラ／＼シタ式ニテ閉口。

〔田村浩 経済〕部長支那旅行ヨリ今夜帰庁。大橋夫妻、夜遊ビニ来ラル。良子本日ヨリ発熱、先日暴風アリテ扁桃腺ヲ痛メタラシ。

子供モ四人トナルト代ル／＼病氣スルモノカ。

六月二日 金曜

朝倉郡農会ノ初顔合ハセノ会合ニ出張。結局森部〔隆輔 朝倉郡農会長・県畜産組合聯合会長〕会長ノ披露宴ナリ。

帰途、農務課ノイツモノ連中ト真砂ニ立チヨリ遅クマデ呑ム。深更帰宅。本日ハ久シブリニテ面白キ宴会ナリキ。

六月三日 土曜

帰庁后ノ部長ト初メテ会ヒ、事務打合セヲ行フ。午后ハ早ク帰ヘリ子供ノ世話ヲナス。良子、良彦、共ニ元気ナルモ、博力無理ヲ言ヒテ閉口。夜、高木〔幸雄カ 福岡県経済部属〕君来訪。夜中大雷雨アリ。

六月四日 日曜

本日ハ全ク気持チ良キ天気ナリ。博モ朝カラ機嫌良ク家ニ在リテ良ク遊ベリ。終日家ニテ掃除ヲナス。長イ間手ヲ抜イテアツタノデ、一通リノ掃除ニモ大シタ時間ヲ要ス。一日中労働、只食事甘シ。掃除後、野菜手入、水撒キ、ナドヲナス。

六月五日 月曜

春蚕ノ出廻ハリ時期ニテ検定所、朝倉郡筑紫郡ナドノ視察ヲナス。天氣良ク暑サ亦相当ナリ。玉蘭デモ七十七銭ニテ取引アリ。上繭ノ値段モ想像ニ難カラズ。昨年ノ値段ノ倍以上トナル。隔世ノ観アリ。帰途、試験場検定所ノ連中ノ春日原巴ニテ会食ヲナス。疲労セルモ気持チ良キ一日ナリ。

六月六日 火曜

京都郡行橋町ニ出張、梅之屋ニ投宿。大阪ヨリ中山氏ノ代理トシテ笠進両氏ノ来豊アリ。謝意ヲ表スル為会食。酒モ適当ニ酔ヒ気持チ良ク十時頃就寝。

六月七日 水曜

行橋町外豊前分場ニ中山氏ノ寄附ニカ、ル農業薬剤研究所落成式開催〔児玉九一〕知事ト共ニ臨席。盛大ナル落成式ナリ。笠氏ニ面会、国民馬事研究所ニ対シ中山氏寄附方始メテ依頼ヲナス。

知事ニ随行帰庁。留守中、彬、種痘ヲ受ク。市ヨリ通知ナキモ進ンデ受ケシメタル如ク、今ガ一番好時期ナリト。

六月八日 木曜

軍馬資源保護法ナル画期的法令施行ニ関シ、市町村事務主任者打合会開催。

農林省ヨリ井ノ瀬事務官〔馬政局事務官・陸軍騎兵中佐井瀬清助カ〕来県。

終了後新三浦ニテ会食。

一度帰宅セルニ課ノ連中ノ呼出アリテ永岡ニ至リテ飲ム。

六月九日 金曜

天気良シ。公務閑散。

彬計量セルニ二貫二百匁アリ。自分モ一時八十五貫ヲ割ルコト相当アリシガ、最近早起キニヨリテ運動セルト節制セルタメ目方モ増シ、十五貫四百匁以上トナル。

六月十日 土曜

土曜日ナルモ公務多忙ニテオソクマデ在庁。中牟田氏来訪、奥村〔利雄〕、東〔房太〕両君ト共ニ老松ニテ会食。九時頃帰宅。

生産拡充予算ノ問題ニテ勉強。

六月十一日 日曜

天気アマリ良カラス、不愉快ナル日曜日ヲ過ス。

先日來健康ニ注意セルタメ、一時八十五貫ニ不足ヲ來シテ居タガ、コノ頃ハ少クトモ十五貫二百匁アリ、普通三、四百匁ニテ一時ヨリ四百匁程ハ増加セリ。

六月十二日 月曜

大蔵事務官来県、公務多忙、夜ハ新三浦ニテ会食。

六月十三日 火曜

前年ニ引続キ第三回製茶大量出荷品評会開会中ニテ、本日ハ審査決定ノ日ナリ。県外ヨリモ多数ノ審査員ノ来県ヲ得ルアリ。太閤園ニテ晚餐会ヲ行ヒ、打越農林省事務官歓迎会、永岡ニ開ク。

六月十四日 水曜

生産拡充予算ト肥料配給統制ト双方事務複双〔輻輳〕シテ公務多忙ナリ。本日ハ県農会ノ郡駐在員ノ集合ヲ求メテ、肥料統制ニ関スル打合会ヲ開ク。肥料配給ニ関スル産業組合関係ノ陳情、連日殺到シテ閉口。夜ハオ茶品評会関係ノ宴会新三浦ニ開カレ、深更帰宅。

六月十五日 木曜

第一農区協議会宗像郡津屋崎町ニ開カレ、奥村〔利雄〕技師ト共ニ出張、新博多駅ニテ偶然、貫名氏ニ会フ。全ク偶然ナリ。

会議ハ愉快ニ終了シ午餐ヲ共ニシテ夕刻帰宅。

六月十六日 金曜

肥料ニ関スル打合ヲナス。オ茶品評会ノ賞品授与式アリ。

連日天気続キニテ取り入レニハ結構ナリシモ、コノ儘ツツケバ植付ケ如何トソロ／＼心配ノ種ナリ。

午后ヨリ生産拡充ニ関スル農務課予算打合ヲナシ、午後九時半帰宅、夕食ヲナス。

六月十七日 土曜

引続キ快晴ナリ。肥料配給ニ関シ研究ヲ続ク。
帰宅後掃除ヲ手伝ヒ野菜ニ水ヲ撒ク。

「今日モ亦女中代リニ過シケリ」

六月十八日 日曜

入梅後モ引続キ快晴ナリ。午前中掃除ノ手伝ヲナス。午后ハ俊子ガ子供ヲ連レテ買物ニ行キ、彬ト二人留守番ヲナス。天気良ク日光浴旁々野菜ノ手入レナドヲナス。氣持チ良キ日曜日ナリキ。

六月十九日 月曜

園芸技術員會議アルモ、肥料統制事務打合ヲ続行、各方面ノ陳情者多ク肥料ノコトニツキイロ／＼頭ヲナヤマス。
彬本日入浴セシメ居タルトコロ、独リデヒツクリカヘリ手モ抜き、ナカ／＼元氣良イトコロヲ見セ居レリ。

六月二十日 火曜

午前中、肥料配給ニ関シ郡農會技術員會議開催。午後ハ小麦、菜種検査標準査定會開カレ、終了後大閤園ニテ會食、終了後広吉〔政雄カ福岡県農會幹事〕君ト清流莊ニテ飲ム。
塵集メ程度ナガラ小雨アリ。全クノ喜雨ナリ。
県農會長選挙ニツキ、ゴタ／＼シ居ルガ如シ。

六月二十一日 水曜

霧雨ツツキナリ。朝早く出発シテ、渡辺通一丁目ノ青果市場ヲ見ル。

肥料配給ノ大体方針ニツキ知事ト打合ヲ行フ。
退庁早シ。雨アリタルモ少ク心配ナリ。

六月二十二日 木曜

肥料問題続考。
夜早く就寝。

彬、耳だれガ出テ本日医師ノ診察ヲ求メタルニ中耳炎トカナリ。尤モデキ治ルモノニテ、誰レデモ幼児〔時〕ニカ、レルモノノ如シ。

六月二十三日 金曜

脇山村主基地方肅田記念祭ニテ部長ト共ニ出張。古式ユカシキ祭典視察。終了後、太田主石津氏宅ニテ昼食ヲ御馳走ニナル。折カラ大雨アリテ一張羅ノ夏ノモーニングナドヅブ濡レトナル。夕刻帰宅。吹キ降りニテ閉口。
尤モ農家ニトリテハ結構ナ喜雨ナリ。八木〔芳信 兵庫縣警察部警務課長↓島根縣經濟部長 良三と三高・東大・入省同期〕、右田〔鉄四郎 兵庫縣警察部工場課長兼調停課長↓島根縣警察部長 良三と入省同期〕両君部長トナル。

六月二十四日 土曜

肥料ニ関スル陳情者引続キ殺到。奥村〔利雄〕、東〔房太〕両君ト昼食ヲ共ニス。

六月二十五日 日曜

家ノ掃除ナドヲ手伝フ。午后、石井〔徳久次〕県農會長來訪。肥料ノ

問題ニツキ懇談。アチコチ掃除ヲナシ、尚水撒キヲナス。氣持チ良キ日曜日ナリ。

六月二十六日 月曜

午前十時四十分ヨリ、知事室ニテ肥料ニ関スル関係部課長會議開催。其ノ間、産業組合関係者ノ陳情ヲ受ク。午后モ肥料協議會続行。夜七時頃終了。本日ハ肥料ノコトニテ終日何モ出来ズ、暑サト共ニ閉口。

六月二十七日 火曜

肥料關係調査ノタメ關係者ヲ派遣ス。県農會長選舉執行サレ石井〔徳久次 立憲政友會所屬〕代議士再選、但シ一年間ノ条件付トノコトナリ。肥料ノコトニテ長官ト相談ヲナス。

六月二十八日 水曜

肥料調査続行。午后ヨリ長官室ニテ肥料關係部課長會議続行。夕刻、県ノ大體方針決マリ經濟更生委員會招集通知ヲ發ス。

深更ブラジロニテ關係者ビールヲ吞ミテ帰ヘル。

六月二十九日 木曜

午前八時半ヨリ市町村長會議開催。午后ハ中央ヨリ稲田〔昌植〕男爵見エテ、蚕糸業懇談會開催。夜ハ常盤館ニテ夕食ヲ共ニス。途中予算査定ノタメ県庁ニ歸ヘリ勉強、ナカ／＼忙ハシキコトナリ。

六月三十日 金曜

〔服部直彰〕総務部長ノ予算査定ヲ受ク。農産物生産増殖ニテ約五十

万円ノ追加予算ナリ。肥料問題ニツキ総務部長ヨリ横槍ガ出テ再燃、予算査定ト双方ニテ深更一時半帰宅、二時過ヤツト就寝、多忙極ハマリナシ。

七月一日 土曜

蘭価協定委員會ヲ開ク。午后ノ肥料ニ関スル經濟更生委員會ノ用意ナドノタメ午前中多忙ヲ極メ、午后一時過委員會開催。各種ノ意見出テタルモ農務課ニ対スル感謝ト共ニ原案可決。重荷ヲ下ロシ愉快ナリ。蘭価協定委員會委員連中、新三浦ニ會食後、老松ニテ二次會、十一時頃帰宅。思出アル一日ナリ。

七月二日 日曜

ユツクリト日曜日ヲナス。彬ヲ病院ニ連レテユク。先日来鶏舎建築中ノトコロ本日出来上ル。立派スギル程立派ナリ。

七月三日 月曜

生産増殖ニツイテノ県參事會開會。約五十万円内県費四万円余ノ關係予算可決。郡農會幹事、技術員協議會ヲ開ク。肥料ニ関スル打合せト指示トヲナス。

夜ハ大安ニテ肥料事務慰勞會ヲナシ永岡ニテ二次會。少々降雨アリ。

七月四日 火曜

引続キ降雨アリ。ヤツト愁眉ヲ開ク。久シブリニテ早く帰宅。

七月五日 水曜

公務ヤ、閑散。早ク退庁シテ玉屋ニ紀元二千六百年紀念展覽会ヲ見ニ行ク。帰宅後野菜ニ散水。

七月六日 木曜

肥料配給統制ノ実施ニ関シ、本日三井郡ニテ始メテノ会合アリテ、農務課関係官総動員ニテ出席。午前ヨリ午后ニ引続キ懇談、夕刻帰庁。後、新三浦ニテ県農会関係職員ト会食ヲナシ清流荘ニテ二次会。深更帰宅。

七月七日 金曜

支那事變ニ周年紀念日ナリ。八女郡古川村ニ經濟更生特別助成村トシテノ宣誓式行ハレ、早朝ヨリ之ヘ出張。式終了シテ一場ノ講演ヲナス。船小屋竹屋ニテ昼食、夕刻帰庁。

七月八日 土曜

肥料打合せノタメ糸島郡ニ出張。會議終了後郡内トマト栽培状況視察。加布里ニテ御馳走ニナリ海水浴ヲモナス。始メテノ海水浴ナリ。夜ハ暑クテ子供モ熟睡セズ閉口。

七月九日 日曜

夜明ケ方一寸降雨アリ。折角ノ海水浴ノ日曜日ナルニ、満洲移植馬ノ九州地方打合会開カレ全クオヂヤンナリ。然モ三十三度ヲ四分モ超ユル酷熱ニウダリ全ク困ル。終了後常盤館ニテ会食。国民馬事訓練所ノ件、知事ノ意見定マリヤット安心。

七月十日 月曜

苧麻検査標準糸査定会開カレ、一日之ニ消費。新三浦ニテ会食。一割以上ノ植付未済地アル見込ニテ之ガ対策ニ腐心。

七月十一日 火曜

午前十一時四十三分山崎〔達之輔〕前農相着。之ヲ駅頭ニ迎ヘ、早害対策、長官祈願ナドニツキイロ／＼研究。殊ニ本日ハ鹵佃協定委員会ノ第三回目ノ委員会ニテ、春蚕ハ殊ニ景氣良ク、一円以上ニ定メントシ腐心。結局理想ニ決定。博多ホテルニテ慰労宴ヲ開キ、崎田〔義雄 農林省經濟更生部総務課長〕氏來博ニツキ、〔兄玉九一〕知事・〔服部直彰〕総務部長ト「おきく」ニテ飲ム。深更帰宅。

七月十二日 水曜

農業報國聯盟主催ノ増産計画懇談会開会。夜ハ崎田氏ト竹葉ニテ会食シ、後、常盤館ニ行ク。感ズルトコロアリ本日丸坊主トナル。氣持チ良ク、サツパリトス。深更帰宅。

七月十三日 木曜

早朝山崎氏一行ヲ榮屋ニテ送ル。崎田氏丸坊主ノ写真ヲ撮ル。嘉穂郡ノ肥料ニ関スル打合会ニ出席。帰宅後一寸水泳ヲナス、第二回ナリ。早害対策決定後ノタメ夕刻ヨリ出勤。コノ頃ノ忙ハシイコトハ格別ナリ。

七月十四日 金曜

肥料打合ノタメ宗像郡ニ出張。早ク帰宅シテ水泳ヲナス。第三回目ナリ。本年ハ徐々ニナセルニツキ赤クコゲズ好都合ナリ。

彬計量セルニ二貫二百匁、コノ暑サニモ拘ラズ目方ダケハ増加セリ。博、淋巴腺ハレテ本日石田外科病院ニテ手術。

七月十五日 土曜

三瀧郡ニ出張。本日ハ割合ユツクリ水泳ヲナス。第四回目ナリ。連日ノ旱天ニテ昨日ト本日ハ座敷ノガラス戸ヲ開放シテ就寝。博本日モ引続キ通院。

七月十六日 日曜

海水浴第五日ナリ。朝カラ波静カニテ一寸水泳ヲナス。旱害対策ノタメ郡市農会技術員會議ヲ開キ午后マデ熱心ニ協議ヲ続ク。俊子モ頭ガイタイトカニテ全ク閉口ナリ。

七月十七日 月曜

博ノ手術セル方ハ大分良クナレルモ他ノ一方ノ足ノ淋巴腺ガ亦ハレテ、本日ハ俊子ト二人ニテ朝、石田病院ニ行ク。光線放射ヲモ受ケシム。大分時間ヲ要シ、昼頃県庁ニ出勤。

〔田村浩〕經濟部長上京中ノトコロ昨日帰庁セラレ、旱害対策ニツキイロ／＼打合ヲ行フ。消防用ガソリンポンプヲ総動員スルコトトス。

七月十八日 火曜

旱害対策トシテ県庁ニポンプ百五十台、井戸掘助成二〇〇井ノ半額、計五万三千円程支出スルコトニ決定。

福岡農学校ニテ学校長ト県ノ技術者トノ協議懇談会ヲ開カレ出席。アサヒビールヲ視察。

七月十九日 水曜

旱害対策ニツキ腐心。博ノ手術セル方ノ淋巴腺ハ大分良クナレルガ他ノ方ハカ／＼シカラズ。本日ハ夕方カラ病院ニ連レテユカシム。

七月二十日 木曜

午前〔田村浩〕經濟部長ト共ニ筑紫郡旱害状況視察。「軍用保護馬検定ニ就テ」トノ題下ニ二十分ノ講演ヲナス。病院ニユケル家族ト共ニ帰宅。

七月二十一日 金曜

午前、經濟部長ト共ニ宗像郡粕屋郡ノ旱害状況視察。当地方ハ割合被害少シ。午后一時過知事帰庁、旱害ノ相談ヲナシ、明日、雨祈祭、旱害地視察ヲナスコトトナリ。ソノ用意ヲナシテオソク帰宅。

七月二十二日 土曜

午前九時、住吉宮ニ於ケル〔児玉九一〕知事祈雨祭ニ隨行。引続キ県下ノ旱害甚シキ糸島郡地方視察。糸島郡ハ旱害特ニ甚シ。野北村ニテ昼食中、雨ボツ／＼降り出シ三時過ヨリ多クナリ夜ニ入りテ大雨トナリタリ。〔至誠通天〕トモ言フベキカ。本日貫名氏ノ斡旋ニテ女中來ル。

七月二十三日 日曜

昨日ノ降雨福岡地方五十ミリニテ相当ノ降雨アリタルワケナリ。マダ降り続ケルモ本日ハ知事ト共ニ宗像郡視察。宗像神社ニ参拝。帰途県立肺病病院ヲ見テカヘル。氣持チ良キモノニアラズ。博先日來淋巴腺ハレテ手当中ノトコロ良クナラズ、本日ハ更ニ右ノ淋巴腺ノ手術ヲ受ケシム。

七月二十四日 月曜

早朝、知事ニ隨行シテ住吉宮ニオ礼参リニ行ク。二日間デ約七十ミリ降雨アリタル様ニテ、山口熊本ハ少キニスギ、大分ハ百九十ミリトカニテ洪水ト比ベテ本県ハ全ク理想的ナリ。

午后ヨリ知事ニ隨行シテ朝倉〔郡〕、三井〔郡〕ノ状況視察。

夜ハ新三浦ニテ県農会ト共同ノ祝賀会。

夜、良子腹痛トカニテ牧島〔和助カ〕サンノ藥ヲ貰ツテ帰宅。

七月二十五日 火曜

良子昨夜中三十九度以上ノ発熱アリ。便通モ回数ワカラス程アリタル模様ニテ、今朝早朝、牧島先生來診セラレ疫痢ト診定。福岡ニ來テ三年間注意ニ注意ヲ重ネツツトウヽ疫病ニ見舞ハル。遺憾至極ナリ。尤モ良子モ非常ニ元氣ニテ本人ニハ危険ナキモ、他ノ子供ニ伝染ヲ防グタメ牧島病院ニ入院セシム。

県庁ハ八二時頃出勤シテ間モナク退庁。夜ハ一寸俊子病院ニユキタルノミニテ、看護婦一人ヲツケテ外泊トナル。

七月二十六日 水曜

朝出勤ノトキ病院ニ立チ寄りタルニ、良子ハ大分熱モ下リ七度前後トナリ脈モ強ク心配ナキガ如シ。

朝倉郡農業保険創立会議アリテコレニ出席。本県モ愈々保険組合聯合會設立出來ルコトナル。夜ハ俊子ガ病院ニ手伝ヘ行キ深更帰宅。

山川〔寛カ 門司運輸事務所長〕君來リ、一寸出テユキビール園ニテ飲ム。

七月二十七日 木曜

朝、俊子ガ大便ヲセルニ便ノ具合ガワルク、昨夜モ二、三回大便ヲナシ、ドウモ赤痢デハナイカトノ話ナリ。百難來、家中病人ニアラザルハ自分一人ナリ。彬ハ耳、博ハ足、良彦ハ皮膚ト齒、良子、俊子ハ伝染病、百病充滿ノ家トナル。

牧島〔和助カ〕先生ノ診断ヲウケタルニ矢張り輕イ赤痢トノコトナリ。

良子ノ看病旁々入院セシム。

早ク病院ヨリ帰ヘリ海水浴ヲス。海水浴第六日目ナリ。

七月二十八日 金曜

昨夜ハ良彦ト博ト三人ニテ就寝。割合オトナシク良ク寝レリ。

畜産増産計画ノ打合會ヲ開ク。終日ニテ大變ナリ。夜ハ彬ヲ病院ニ貰ヒニ行キ入浴セシメテ又連レテユク。百難來。

一寸海水浴ヲナス。海水浴第七日目ナリ。尤モ本年ハ少シツツヤレルノミニテアマリ焼ケズ。

良子、俊子共ニ心配ナシ。

七月二十九日 土曜

海水浴第八日目ナリ。

俊子ハ調子モ良クナリ夕刻退院。防空訓練本日ヨリ三日間施行セラル。

七月三十日 日曜

静カナ日ニテ午前中家ノ掃除ヲナシタル上海水浴ヲナス。良キ天気ニテ本日ハ海水浴ラシキ海水浴ヲナセリ。十一時過ヨリ博ヲ石田病院ニ連レテユキ、帰途病院ニテ良子ノ写真ヲ撮リ再ビ海水浴。海水浴第九日目ナリ。夕食殊ノ外ウマシ。

七月三十一日 月曜

郡市農会技術員ヲ集メ旱害対策協議。

退庁後海水浴ヲナス。海水浴第十日目ナリ。

良子本日退院。

八月一日 火曜

旱害対策ノ県参事会開カル。散髪第二回ヲナス。

新三浦ニテ農業保険関係者ノ懇談会開キ深更帰宅。

八月二日 水曜

県庁ニテ気分悪ク、午前中ニテ退庁。扁桃腺赤クナレルト腹ノ具合ト両方悪シ。夕刻ヨリ降雨アリテ夜ハ涼シク其ノ点氣持良シ。

良子ノ病氣モ順調ニ回復シテ、本日看護婦ヲ解雇ス。

八月三日 木曜

県ノ経済更生委員会開会。木炭、畜産物増産計画打合、決定ヲナス。

良子計量セルニ四、三二〇匁。良彦四、五一〇匁アリ。一時ハ良子ガ良彦ヨリ二〇〇匁程多カリシニ、二〇〇匁少クナレリ。尤モヒドイ病氣ヲ患ヘル割合ニハマシデアツタ。
二日ヨリ本日ニ互リ相当降雨アリ。

八月四日 金曜

浮羽郡田主丸町ノ浮羽郡農業保険組合創立總會ニ出席。コレニテ県下三組合ノ設立ヲ見テ、愈々保険事業ニ邁進スルコトナル。

二日間ノ降雨ニテ一応旱魃被害解消、二日間ノ降雨福岡ニテ約六十ミリナリ。

遽カニ涼シクナル。

八月五日 土曜

暴風雨ノ傾向アリテ本日ハ海水浴ラシヤウト思ツテモ出来ズ閉口。博多湾モ波荒シ。

八月六日 日曜

風雨アルニアラザルモ天気悪シ。

兵隊サンガ多数水馬練習ニ百道浜ニ来テ子供共ニ見物。午后ハ一寸海水浴ヲナス。海水浴第十一日目ナリ。仕方ノナイ日曜日ナリ。

彬ヲ病院ニ連レテユク。

八月七日 月曜

肥料関係ニテ人糞尿措置ニツキ関係者協議会ヲ開ク。午后ハ県農会駐在技術員懇談会ニ出席。奥村〔利雄〕君東京ヨリ帰ヘリ、新三浦ニテ

東〔房太〕君ト三人ニテ会食。

八月八日 火曜

新宮村ニ於ケル第一農区町村農会技術員講習会ニ出席。新宮浜ニテ海水浴ヲナス。良キ天気ナリ。

帰宅后、百道浜ニテ亦海水浴。夕刻ヨリ夕立アリ。海水浴第十二日目ナリ。

八月九日 水曜

本年ハ新春以來家内ニ病人多ク、中央病院三十二円五十錢、牧島病院五十二円、同看ゴ婦二十六円、計百十円ニテ、ソノ他博ノ石田外科病院約二十五円、彬ノ耳ノ病院五十日ニテ二十円、皮膚科病院約五円ニテ五十円、合計百六十円ノ支出アリ。病人続出ニ続出ニテ困却。夜、大腹下シヲヤリ消耗。

八月十日 木曜

午前中県庁ヲ休ミテ静養。午后一寸出勤、早ク帰ヘリテ引続キ静養。彬ハ本月ハジメ頃ヨリはひくヲ始メ、コノ頃ハナカく元気ナリ。未ダ七ヶ月モナラスノ二一寸立ツ真似ヲシタリ成人ガ早イヤウダ。

八月十一日 金曜

土屋〔正三〕農務局長來県ニテ、長官〔福岡県知事児玉九一〕ト共ニ加布里マデ迎ヘ、糸島郡ノ旱害地ヲ案内ス。自分ノツカヘタ人ガ來ラレルノハ親シクテ案内モ都合良シ。

午后ハ失礼シテ早ク退庁、一寸食事モ進ム。

八月十二日 土曜

女中帰省ス。折角來テ又カヘル、不愉快ナリ。
土曜日ナルモ県庁デオソクマデ用事ヲナシテ帰宅。

八月十三日 日曜

良キ天気ナルモ腹ヲコワシテ仕方ナシ。午前中一度海水浴ヲナス。海水浴第十三日目ナリ。
一日中ユツクリト日曜日ヲ樂シム。

八月十四日 月曜

久シブリニテユツクリト旅行スルコトナリ、大橋〔峰吉カ 經濟部屬〕君ト共ニ浮羽郡母木園視察。果物ノ新シイモノ、殊ニ梨ノ美味シイノヲ御馳走ニナリ、田主丸㊤ニテ昼食ノ上、本日ハ由布院温泉ニテ宿泊ノタメ旅行途中、日田ニテ見物ス。
由布院ハ涼シク避暑客多ク満院ニテ、三人六畳間ニ同宿。

八月十五日 火曜

由布院温泉ノ印象良ロシカラズ。由布嶽下ノ鐘紡緬羊牧場視察。高原ニテ氣持良キ所ナリ。宿望ノ牧場モ充分視察ノ上、耶馬溪探勝、深耶馬ハ全ク言外ノ景勝ナルモ、〔頼〕山陽ノ言フ所謂旧耶馬ハツマラス。旧耶馬デハ時間ヲ差シ繰リ五百羅漢ヲ見ル。八屋築上館投宿。

八月十六日 水曜

昨日來持參ノ梨モ全部食ツテシマヒ、本日ハ豊前分場視察。葡萄ヲイロく試食。

蓑ノ島海水浴場ニテ昼食ヲナシテ海水浴ヲナス。海水浴第十四日目ナリ。

八時半帰宅。

ユツクリトシタ旅ヲナセリ。

八月十七日 木曜

四日振りニテ出勤。

八月十八日 金曜

農務課予算編成ノ勉強ヲナス。本日ハ午后ヨリ蚕糸関係予算ノ勉強。彬ノ目方二、三〇〇匁ニテ七月ヨリ百匁増。計量一寸遅レタルモ百匁ヲ暑中ニ増エタルハ結構ナリ。

八月十九日 土曜

蚕糸ノ検定所、取締所予算決定。

夜ハ新三浦ニテ千葉県渡辺〔誠三カ 千葉県農会技術員養成所地方農林技師〕技師〔園芸講習会講師〕ヲ囲ミテ会食。

八月二十日 日曜

子供ノ目方

良子 四、四二〇匁 病中ヨリ百匁増
良彦 四、四〇〇匁 以前ヨリ一寸減
博 三、四八〇匁 コノ頃肥エタリ。
本年夏ハジメ子供ト共ニポートニ来ル。海水浴第十五日目ナリ。コレガ最後ノ海水浴カ。家事手伝ヲナス。

八月二十一日 月曜
一日中予算勉強。

八月二十二日 火曜

引続キ予算ノ勉強。

尚旱害対策モ旱天続キニテ、更メテ問題トナル。

八月二十三日 水曜

予算編成。

夕刻ヨリ糸島郡・雷山村ニ於ケル第一農区草刈競技会ニ出席ノタメ糸島郡ニ出張。夕刻八時過山腹ノ宿舍ニツクマデ約一時間徒歩ニテ山ヲ登ル。

八月二十四日 木曜

午前二時目ヲサマシ午前三時起床。四時過、暗黒ノ中ヲ登山。午前五時未明雷山上ノ草刈場ニツク。
会場モ良ク壮観ナリキ。

競技終リテ下山、雷山寺ニテ賞状授与式挙行、夕刻帰宅。

八月二十五日 金曜

予算編成。上野〔開治カ 福岡県經濟部地方農林主事〕君ナドト共ニ永岡ニテ会食、深更帰宅。

八月二十六日 土曜

暴風雨ノ兆候アリテ風波立テルモ更ニ海水浴ヲナス。海水浴第十六日

ナリ。

夜ハ疲レテ早く就寝。

八月二十七日 日曜

台風近ツケリトカニテ、一日中天候悪ク波高クシテ致シ方ナシ。午前中彬ヲ耳ノ病院ニ連レテ行ク。正午奥村〔利雄〕君来訪アリ。事務要談ヲナス。

八月二十八日 月曜

畜産関係ノ予算ノ勉強ヲナス。公務多忙。

八月二十九日 火曜

畜産関係予算ヲ取り纏ム。コレニテ一応農務課予算ノ査定ヲ終リタルワケナリ。
七時過帰宅。

八月三十日 水曜

県農会主催郡市農会長会議。県主催一毛作田解消協議会。菜種作田小麦作二転換協議会、県養聯総会ト四ツノ大キナ会議一日ニ集中。
帰途、佐藤〔敏夫カ 福岡県經濟部地方農林技師〕技師養母ノ告別式ニ参列。

八月三十一日 木曜

愈々八月モ末日トナル。本月初メ二日三日ト降雨アリタル後、全ク雨降ラヌ地方アリ。旱害地激増、コレニ消費セル石油モ大変ナ分量ナリ。

農家ノ劳苦同情ニ堪ヘズ。

内閣交迭後、内務次官ハ支那ヨリ大達〔茂雄〕氏帰任トカ。
欧州ノ情勢ハ独波両国ノ問題ヲ中心トシテ緊迫シ火蓋ヲ切ラル。

九月一日 金曜

第一回〔興亜奉公日〕ナリ。平沼〔騏一郎〕内閣時代、国民精神総動員運動ノ一助トシテ実施セラルコトナリ、阿部〔信行〕新内閣ニテソノ第一回ヲ迎フ。定刻八時ニ出勤、行事ヲナス。気持チ良キモノナリ。

知事室ニテ、食用米ノ都市ニ於テ逼迫セルニ対スル対策協議会アリ。米穀不足ノ声、次第ニヤカマシクナル。

九月二日 土曜

独波戦端ヲ開キ、昨日来実力行使中トノコトナリ。独乙軍大挙、波国境ヲ進軍中トイフ。
日本ガ東洋ノ計画ノ遂行スルタメニモ欧州動乱ハ希望スルトコロナリ。切ニ事变ノ拡大ヲ祈ル。

参事会開会、農業保険補助ソノ他関係予算多シ。
平穩ナル二百十日ナリ。

九月三日 日曜

天候格別ヨシ。全ク雨ニメグマレヌモノノ如シ。最後ノ海水浴ヲナス。第十七日目ナリ。本年ハ大イニ努ムル積リニテ、マア十七回ハ成功ノ方ナラン。来年ハ何処ニテ夏ヲスゴスコトカ。

子供ノ魚釣リノ所ヲ撮ラントシテ栈橋上ヨリレンズ、フールドヲ落ス。

大枚八円也ノ損失ナリ。夕刻干潮時ニサガシニユケルモ駄目ナリ、風邪ニカカツタリシテハ大変、トイー加減ニシテ引上グ。

九月四日 月曜

旱害殊ノ外甚シク、昨今ハ石油ノ世話ナドニテ大変ナリ。

午后ヨリ自動車ニテ筑紫郡糟屋郡ノ視察ヲナス。稲ガ焼ケテ惨状目モアテラレヌ状態ナリ。

独波戦端ノ開ケ次第二拡大シツツアリ。

九月五日 火曜

八女郡上妻村ニテ茶葉組合主催ノ手操製茶競技会アリ。早朝ヨリ出発シテコレニ出席、激励ノ演説ヲナシ、福島町一口亭ニテ昼食ヲナシテ、午后二時ヨリ県農会主催旱害対策協議会ニ臨ム。

議論百出、結局国、県ニ陳情スルコトナル。

九月六日 水曜

旱害引続キ増大ノ一途ヲタドル。〔兎玉九一〕知事ト共ニ香稚宮ニ兩乞祈願祭ニ臨ミ、後、糟屋郡内旱害状況視察。小野村ノ惨状ナド特ニ甚シ。

今回ノ内閣交迭ニ伴ヒテ先日知事異動アリ、書記官異動近日中ノ趣ニテ待望鶴首。

九月七日 木曜

〔服部直彰〕総務部長ノオ伴ヲシテ宗像神社ニ参拝。引続キ旱害状況視察。

九月八日 金曜

朝新聞ヲ見ルト〔服部直彰〕総務部長大阪ニ転任、本日他ノ書記官ノ異動アルヤウニテ、朝ヨリ気ガ気デナシ。〔田村浩〕経済部長ト筥崎宮ニ祈願祭、車中部長トノ雑談中、今回ノ異動ノ選ニ入り得ザルノ予感ヲウク。結局選ニ入り得ザルコト午后四時頃確定。悲観。

米穀事情逼迫シ、米穀事務所長〔米穀局門司米穀事務所長中野代二〕ト協議ノタメ門司ニユク。数十日来二日一回ノ配水トカニテ風呂ニ入り得ズ。

九月九日 土曜

門司米穀事務所ニ到リ、政府米払下ゲニツキ種々懇談。

八月二、三日以来、本日始メテ相当ノ降雨アリ。コレニテ旱害モ少シハ少クナル見込ナリ。

九月十日 日曜

〔田村浩〕経済部長ト三池・山門郡ノ旱害状況視察ノタメ出発、自動車ニテ正午頃三池郡着。昨夜ノ雨ニテ本日ハ少シハ見直ホセル様子ニテ、三池郡ハ特ニ降雨多ク喜ビ居レリ。夕刻帰宅。

九月十一日 月曜

米穀需給対策ニツキ懇談。農務課関係ニテ米ノ現在高、麦ノ生産者手持ノ分ナド調査スルコトトス。

九月十二日 火曜

政府米払下ゲニツキ自分ガ農林省ニ出頭スルコトナリ、本日急遽上

京ノコトトナル。政府米ノ払下ゲハナカ／＼ムツカシイト言フ。相当ノ決心ヲ要ス。午后久留米市ニテ開催ノ筑後地方米穀出荷打合せニ臨ミ、夕刻ヨリ用意ヲシテ八時二十八分ニ博多発。全ク忙ハシイ出張ナリ。寝台ヲ得テユツクリス。

九月十三日 水曜

車中ノ一日ハ全ク退窟〔屈〕ナリ。夕刻東京着、例ニヨリ東岳館ニ投宿。

九月十四日 木曜

農林省ニ出頭。〔周東英雄〕米穀局長病氣欠勤トカニテ、〔安孫子藤吉〕内地課長ニ面接、種々事情ヲ述ブ。其ノ他規則改正ナドニ奔走。夜ハ旅館ニテ一行ノ者ト夕刻ヲ共ニシ明日ノ策ヲ練ル。

九月十五日 金曜

農林省ニ出頭。三万俵ノ諒解ヲ得。相当ノ数ニツキ、大体コレ位ニテヨカロウト思ヒ県庁ニ打電。各方面トノ協議ヲ済セテ夜電話ニテ部長ト話ヲセルニ、五万俵入用トイフ。依テ更ニ農林省ヘ出頭セルモ、課長ナド帰宅後ニテ内地課長宅ニ電話ス。内務省ニテ秘書官ニモ会フ。

九月十六日 土曜

農林省ニ出頭、更ニ二万俵申込ミノ諒解ヲ得。内務省ニテ挟間〔茂〕地方局長ニモ面接。夜行ニテ退京ノコトトス。寝台ナクシテ閉口。

九月十七日 日曜

昨晚ハ公務ノ関係上、郷里ニ立チヨルベキカ否カ大分迷ヘルモ、結局帰省スルコトトス。小生婦ヘラストイフノデ老母〔奥田つね〕奈良ヘ出カケラレタ後デアツタガ、直チニ婦ヘラレ、久シブリニテ愉快ナリ。夕刻夕立ノ中ヲ無理ニ帰庁ノ途ニツク。

九月十八日 月曜

朝帰庁。直チニ県庁ニ出頭。知事、部長ニ上京中ノ用向ヲ報告。夕刻帰宅。子供ハ皆寝テキテユツクリス。

九月十九日 火曜

終日、米穀配給事務ニ勃〔没〕頭。選挙ノ用意モ出来ズ。致シ方ナシ。

九月二十日 水曜

米穀配給事務ヲ引受ケルコトトナリテヨリハ全ク多忙ナリ。終日米ノ陳情絶ヘズ。

九月二十一日 木曜

米配給事務多忙ニテ、選挙監視ノタメ出張スルコトモ出来ズ致方ナシ。〔田村造〕経済部長九州各県庁ニ出向イテ諒解ヲ得ラレツツアルニヨリ、不在中尚忙ハシ。夜ハイツモ知事官舎ニ行キテ相談ヲナス。

九月二十二日 金曜

選挙当日ナリ。出勤ノ途中、西新小学校ニテ投票。〔工藤剛〕米穀配給ノ仕事ヲナセル後、正午ノ県農会主催ノ旱害対策懇談会ニ臨

席シ午後出張、全ク多忙ナリ。

夜八時過、投票函全部到着ニツキ、一口亭ニテ夕食ヲナシ林旅館ニ投宿。

九月二十三日 土曜

選挙会開会午前七時開始、未明ニ起キテ午前七時開始、午后三時終了マデ多忙ノ一日ヲ過セリ。選挙録ナド全部終リタルガ午後六時ニテ、一口亭ニテ関係者ノ慰労会ヲ開キ、夜オソク帰宅。

九月二十四日 日曜

米ノ配給ニ関シ農産物検査所支所長會議開会。經濟部長モ昨日九州一円ヲ廻リテ帰庁サレ本日出席、イロ／＼打合セヲナス。

九月二十五日 月曜

農家ヨリノ米ノ供出勧誘打合セノタメ山門郡柳河町ニテ會議。田北氏ニ会ヒ御馳走ニナリ、一緒ニ博多ニ出ル。

九月二十六日 火曜

三井郡會議ノタメ北野町ニ出ル。
米穀配給モ次第二軌道ニ乗ツテ来タヤウダ。

九月二十七日 水曜

長官會議ノタメ児玉〔九一〕知事明日上京ノタメ、本日ハ朝倉郡ノ會議モ取り止メ庁内ニテイロ／＼打合セヲ行フ。
蘭僑協定委員会アリ。

全ク目ノ廻ハルヤウナ多忙ナリ。

九月二十八日 木曜

天氣アマリ芳シカラザルモ、長官飛行機ニテ東上。久シブリニテ早く帰宅。

九月二十九日 金曜

米ノ配給ヲ受クルタメ、〔田村浩〕經濟部長佐賀ニ出張。明日ハ土曜日、明後日ハ日曜日ニツキ、本日相当割当テノ用意ヲナス。奥村〔利雄〕、東〔房太〕両君ト泉ニテ夕食中、經濟部長帰ラレ県庁ニテ打合ハセアリ。後深更マデ泉ニテ呑ム。

九月三十日 土曜

政府米ナド割当テ通知ヲナス。土曜日ナルモオソクマデ仕事ヲナス。

十月一日 日曜

秋ラシキ涼シサトナル。米ノ配給事務ニテ多忙ナルモ、本日ハタマ／＼ノ日曜日ニテ家ニ在リテ野菜ノ手入レナドヲナシ、握リ飯弁当持参ニテ大濠公園ニ行ク。全ク久シブリノ家庭奉仕ナリ。

十月二日 月曜

經濟部長會議ノタメ部長近ク上京サルルニヨリ、昨今又多忙ナリ。予算〔渡部宏綱 総務部〕財務課長ノ査定始レルモ、夕刻ヨリ一寸出タルノミニテ他ハ米ノ陳情ヲ受ケコレガ配当トソノ計画ニ過ス。村上〔国吉〕農林政務次官来県、桜島旅館ニ投宿サル。部長ナドト共ニ旅

館ニテ陪食。

十月三日 火曜

午前八時十分村上政務次官ヲ博多駅ニ送ル。商業組合関係者ヲ集メテ政府米蓬萊米ナドノ配当ヲナス。明日市長會議ヲ開クコトトス。予算査定アルモ一寸出席セルノミ。

十月四日 水曜

午後一時ヨリ米穀配給ニ関シ市長會議ヲ開ク。
予算査定アルモ出席スルノ暇ナシ。

十月五日 木曜

〔兎玉九二〕知事歸庁セラレ、米ノコトニツイテ打合せノ要アルモ、三池郡拔穂式ニ出席ス。タマ／＼降雨アリ、時間モ勵行セラレズ閉口。朝食モ食ハズ無理ニ出席セルタメ帰途中ニテ朝食兼昼食ヲス。
長官歸庁ニテタ刻マデ多忙ヲ続ク。役人タル、亦ツライ哉？

十月六日 金曜

農林省米穀倉庫ヲ訪問、ソノ序デニ二葉、久野両店ヲ訪フ。米穀配給ニツキ日夜多忙ナリ。
朝晩部長ト長矩〔距〕離電話ナドヲカケ連絡ニ忙シ。

十月七日 土曜

土曜日ナルモオソクマデ居残り仕事ヲナス。連日ノ勞ヲネギラフ意味ニテ酒一本ヲゴル。

不充分ナルモ今日ハソノマ、帰宅。

十月八日 日曜

昨日〔加藤等 福岡県經濟部〕商工課長台灣ヨリ歸ヘル。米穀配給打合ノタメ出勤。知事官舎ヲモ訪フ。商工課長ト事務上電話連絡ス。

十月九日 月曜

午后、商業組合ノ連中ノ他、町村長ヲモ集メ、政府米払下ゲ蓬萊米配当ヲ行フ。業者ハ各々勝手ノコトヲ言ヒ閉口ナリ。
商業組合ノ主ナ連中ト知事面接、当面ノ米穀配給ニツキ懇談。夕刻帰宅。

十月十日 火曜

米穀配給ニツキ多忙ナルコト不変。

十月十一日 水曜

西日本有畜農業協議会、本県畜聯当番ニテ開催、暫ラク議長ヲ勤ム。
〔田村造〕經濟部長歸庁、ユツクリ事務打合ヲ行フノ暇モナシ。夜ハ一方亭ニテ、協議会ニ出席ノ〔岸良一〕畜産局長歓迎会ヲ開ク。

十月十二日 木曜

前日ノ協ギ会ノ続行。農業団体懇談会、農業保險聯合会結成ノ三者競合。夜ハ太閤園ニテ会食、満腹帰宅。

十月十三日 金曜

米穀配給事務多忙。

夜ハ九州地方ノ産業組合役員協議晚餐会常盤館ニアリテ、部長ト共ニ出席。

彬ノ目方約二、五〇〇匁。

十月十四日 土曜

白米ノ自肅価格一錢五ノ上ゲヲ決定セラレ、明日ヨリ施行。天氣晴朗ナリ。

久シブリニテ散髪ヲナシ早ク帰宅。

十月十五日 日曜

羽犬塚ニテ畜産組合聯合会経営ノ牛馬取引斡旋所落成式アルニヨリ出張。降雨強クテ閉口ス。

夕刻帰宅。県庁ニユキテ事務ヲトル、近來ニナキ豪雨ニテ困却。

十月十六日 月曜

新嘗祭献穀受納式午前十一時開カル、長官（児玉九一知事）不在ニテ〔田村浩〕經濟部長代理受納、ミカドニテ昼食ヲ共ニス、飯米配給問題ニテ打合。

十月十七日 火曜

米配給ニツキ一寸出勤。

連日米ノコトバカリナリ。其ノマ、夕刻マデ居リテ八時頃帰宅。

十月十八日 水曜

米穀配給問題ニテ大変ナリ。

萩原君出征凱旋、博多駅頭ニ迎フ、全ク二年振りナリ、ナカ／＼元氣ニテ帰還セリ。

〔久松定孝〕侍従、旱害事情聴取ノタメ御差遣ニツキ、知事ト共二門司ニ迎フルコトトシ夜八時二十八分発門司ニ向フ。

十月十九日 木曜

下ノ関ニテ侍従ヲ迎フ。鳥栖マデ車中、知事ヨリ言上、終リテ県内ノ各種事情ヲ申上グ。

今夜ヨリ上京、政府米ヲ貰ヒニユケト言ハル、用意ノタメ明日出発ノコトトス。

ヤ、風邪気味ニテ閉口。

十月二十日 金曜

政府米払下ゲノ書類ヲ持チテ上京。午前十時二十八分博多発、寝台ナクテ閉口、〔土肥憲二郎 福岡県〕土木部長モ同様ナリ。

十月二十一日 土曜

朝東京着。直チニ農林省ニ出頭、夕刻ヤット予定ノ五万ノ約束ヲナス。靖国神社臨時大祭ニテ旅館満員ノタメ学士会館投宿、ユツクリ入浴。疲労ト風邪気味トニテ早く就寝。

十月二十二日 日曜

日曜日ナルガ、農林省ニ出頭シテ政府米払下ゲノ問題解決、明日出発ノコトトス。夜ハ近來ニナイ寒サニテ早く就寝、

十月二十三日 月曜

午前十時半東京発、帰庁。朝農林省ニ出頭シテ馬ノコトノ打合セヲナシ急遽乗車、車中大混雑ナリ。寝台アリテ早く就寝。

十月二十四日 火曜

帰庁直チニ登庁、米ノ打合セヲナシ、長官〔児玉九一知事〕病氣臥床ニツキ長官々舎ニ行キテ報告ヲナス。

加藤〔鯛一〕内務政務次官来県ニツキ旱害対策説明ヲナシ、夜ハ一方亭ニテ宴会。

十月二十五日 水曜

米配給多忙。朝長官ニ呼バレ、夕刻又官舎ニ至リ病臥中ノ長官ニ報告ヲナス。

防空訓練中、泉ニテ奥村〔利雄〕君等ト食事。

十月二十六日 木曜

米穀配給事務多忙。

十月二十七日 金曜

予算陳情ヲ聴イタリ米配給打合セナドノタメニ多忙。

夕刻ヨリ門司ニ至リ、事務所長〔米穀局門司米穀事務所長中野代二カ〕ナドト会食。フク料理ナルモ一人前二十五円程度トナリビックリス。栄屋旅館投宿。

十月二十八日 土曜

門司発帰庁、知事官舎ニ報告ヲナス、〔村田五郎〕総務部長ヨリ予算ニツキ総務部長査定ノ結果ヲ発表セラル。

十月二十九日 日曜

知事予算査定アリテ日曜日ナルモ出勤。夕方一部分ノ査定アリタルマ、終了。七時頃カヘル。

十月三十日 月曜

早朝ヨリ予算査定アリ。農務課関係大体決マル。夕刻四時過知事ヨリ呼バレ、約二時間ニ互リ米ノ問題、予算ノ問題ヲ懇談。

十月三十一日 火曜

予算ニツキ知事ヨリ一部増額ノ申シ渡シヲ受ク。小麦増殖ノ追加予算ヲ組ミ、殊ニトラクター百台分二万六千円ノ追加予算決定セラル。堤氏ニ泉ニテ御馳走ニナル。

十一月一日 水曜

長官遽カニ上京セラルコトトナリ、一時半飛行機ニテ出発セラル。雁ノ巣ニ送り車中イロ／＼説明ヲナス。

追加予算参事会ヲ通過。

久シブリニテ早くカヘル。

十一月二日 木曜

米穀配給問題ニツキ福岡市商人ヲ集メ懇談。今日ハ天気モ良ク四時退庁後乗馬、一汗ヲナガス。

夜ハ竹葉ニテ〔渡部宏綱〕財務課長ト呑ム。

十一月三日 金曜

拝賀式ノ方ハ参列セヌコトトシテユツクリ登庁。〔兎玉九一〕知事ヨリ米ノコトニツキ電話アリテ、早ク稲ノ刈取りヲスルヤウ関係ノ向ニ通牒ヲ発ス。

午后乗馬。

十一月四日 土曜

今夜〔田村浩〕經濟部長上京ニテ、米ノ配給確保方種々打合ヲナス。

警察部トノ連絡ニ多忙。

遺憾ナガラ乗馬出来ズ。

十一月五日 日曜

天気晴朗ナリ。伊藤君ト共ニ乗馬。平尾ノ貯水池ニ行ク。気持チ良シ。七時頃知事ヨリ電話アリ東京ヨリ帰ヘラレ、米ノコトニツキ急遽相談アリ。〔小泉悟郎〕警察部長、〔水谷秀雄〕学務部長モ来訪、懇談セラル。

十一月六日 月曜

夜知事官舎ニテ予算ノ相談ヲナシ、市町村ナドノ団体ニ共同事業トシテ一俵当五十銭見当ニテ米穀ヲ供出セル、場合補助ヲナスコトナドノ相談ヲナス。県下ヨリ二十万俵程度ヲ出サセルコトトシ、町村ニ之ヲ割当テルコトトセリ。

十一月七日 火曜

米穀二十万俵供出ニ関スル打合会ヲ県庁ニ開ク。知事ヨリ未ダ嘗テナキ熱弁ヲ振ハル。参会ノ郡農会長、産業組合部会長、町村長会長ナド何レモ感奮興起ス。明日ヨリノ打合ハセノタメ深更ニ至ルマデ県庁ニテ相談、夜三時ヤツト就寝。

十一月八日 水曜

三瀧郡ニ米穀供出ノ協議会ニ出席ノタメ十二時頃出発。ソノ前後多忙。夕刻帰宅。

十一月九日 木曜

八女郡ニ出張。米穀供出打〔合〕会出席。昼食後、木佐木材ノ蘭業指導所ニ於ケル協議会ニ出席シ柳河町ニテ夕食。

十一月十日 金曜

米ノ供出ニ関スル善後措置ニ多忙。

十一月十一日 土曜

二十万俵割当テノ米ガ順次集荷セラレ、ソノ配給ニ多忙。工場、鉱山方面ヨリモ飯米配給ノ希望続出シ、陳情ヲ受ケルノガ大変ナリ。帰途〔田村浩〕經濟部長ト共ニ〔兎玉九一〕知事官舎、〔村田五郎〕総務部長官舎ヲ訪フ。

十一月十二日 日曜

朝乗馬、大濠公園ヲ一周。

米ノ配給ノコトニツキ知事官舎ニ至リ打合。(周東英雄) 米穀局長宛、政府米配給ノ申請ヲナス。町村長宛通牒ナド作成ニ多忙。

十一月十三日 月曜

政府米続々集荷サレ、コレガ配給統制ヲナス。彬計量セルニ二貫五百六十匁程ナリ。博ヨリ少キガ如シ。遽カニ寒ク一寸風邪氣味ニテ、早ク帰ヘリ用心シテ早く就寝。

十一月十四日 火曜

蘭価協定委員会開カル。午后ニ至リテ、一円三十錢以上ニテ未ダ嘗テナキ値段ニテ取引セラルコトニ協定セラル。新三浦ニテ懇談会アリ。

十一月十五日 水曜

一寸ユツクリス。神谷〔秀夫カ 厚生省衛生局事務官 岡山県勤務時の部下〕君来博シ、本朝博多駅ニ送ル。良彦二三日前ヨリ風邪ニテ咳ヲナス。良子満六年ニテ計量セルニ四貫八百八十匁アリ。久シブリニテ早く帰宅。

十一月十六日 木曜

米ノ供出ノコトニツキ多忙ナリ。殊ニ県ヨリ助成ノ件ニツキ誤解アルヤウニテ、之ガ取扱ニツキ注意ヲ促ス。

十一月十七日 金曜

米ノ供出ノコトニツキ多忙。米ノ供出予想外ニ好成绩ナリ。

十一月十八日 土曜

米ノ供出ノ後始末ニテ多忙。日夜多忙ニテ身体疲労ノ氣味アリ。

十一月十九日 日曜

快晴ナリ。昼前ヨリ一寸県庁ニ顔ヲ出ス。別ニ用事ナシ。殊ニコノ頃県内ノ米出廻ハリ都市モ一般ニ米ダブツク程度トナレリ。

双葉山一行ノ東京大相撲アリテ、ソレヲ見ニ行ク。横綱ノ見事ナ士俵入り始メテ見テ感心。

今日ハ散髪ナドシテユツクリト日曜日ヲナス。

夜〔田村浩〕經濟部長ニ呼バレテ、〔森重剛 經濟部産業〕組合課長、〔水野鐘一 警察部経済〕保安課長ト共ニ部長宅訪問。

十一月二十日 月曜

県会開会サル。午前十一時頃児玉〔九一〕知事説明、音量アリ落チツイタ立派ナ説明ブリナリ。米ノ供出相変ラズ多忙ナリ。

気分悪クテ帰宅、早く就寝。

博モ二、三日来風邪氣味ニテマダ良クナラズ、原先生ノ来診ヲ得。

十一月二十一日 火曜

酒米ノ取扱方如何ガヤカマシ。雄町米、小粒トモニ免〔面〕倒ナリ。米ノ供出善後措置引続キ困惑。

県会説明資料殊ニ旱害対策ニツキ協議。

十一月二十二日 水曜

県会対策ニツキイロ／＼研究。酒米ノ取扱方免〔面〕倒ナリ。

博ノ熱ガ下リ上リ甚シク心配ナルニツキ、本日更ニ原先生ノ来診ヲウケルニ、大シタコトナク熱モ下ルトノコトナリ。

十一月二十三日 木曜

天気悪シ。予算説明、県会関係ノ用務ニテ知事官舎ヲ訪フ。米穀配給統制ノ問題ニツキ知事が県会ニテ説明サルルニツキ、ソノ資料提出ノタメ夜八時半マデ勉強、九時帰宅。

十一月二十四日 金曜

県会再開、官僚独善ノ抗議猛烈ナリ。知事アツサリ答ヘヲケリ。県会再開ニテ米ノ方ハ一寸才留守ナリ。

博、熱ノ上下甚シク、三木〔利一〕サンニレントゲンヲトツテ貰フコトトシ、明日三木病院ニユカスコトトス。

十一月二十五日 土曜

県会開会、傍聴ノ程度ナリ。午後四時頃帰宅。

良彦四貫七百六十匁ニテ、先日風邪ニカ、レルタメカ良子ヨリ一寸軽シ。

博、三木病院ニユキ、肺門淋巴腺ガハレテキルトノ診断ヲウク。

十一月二十六日 日曜

昼頃ヨリ県庁ニ出勤、宮崎ヨリ田村〔正之カ 宮崎県経済部地方農林技師〕技師来県ニテ昼食ヲ水産食堂ニテ摂リ、午后知事官舎ヲ訪ヒ米

ノ問題ヤ四方山ノコト懇談、夕刻帰宅。
博昨日ヨリ熱出ズ。

十一月二十七日 月曜

博ノ熱モモウ殆ンド出デズ、大体大丈夫ノ見透シトナル。

県会再会〔開〕、終日一般質問ニテ賑ヤカナリ。米ノコトハ一寸一段落ナルモ、明日更ニ上京ノコトナル。

十一月二十八日 火曜

県会一般質問ナリ。知事名答弁ヲナス。夜上京スルコトトシ用意ヲナス。八時二十三分発、寝台アリテユツクリトス。

十一月二十九日 水曜

昼中車中ハ退屈〔屈〕ナリ。県庁ノコトハ何モ考ヘズユツクリトス。夕刻着京、東岳館ニ投宿。

十一月三十日 木曜

朝農林省ヲ訪フ。〔我孫子藤吉 米穀局〕内地課長、片山〔秀太郎 米穀局〕技師多忙ニテユツクリ会ヘズ、アチコチ雑用ヲ先キニ済ス。夕刻帰宿。

十二月一日 金曜

東京ノ興亜奉公日ナリ。一日中農林省ニ頑張ル。〔児玉九一〕知事上京要務ハ大体終了セルモ、肝心ノ米ノ問題定ラズ閉口ナリ。
大阪方面逼迫トカニテ中部防衛司令部ヨリモ詰メカク。

十二月二日 土曜

本日モ確定セズ、已ムヲ得ズ帰宅ヲノバシテ東京ニ頑張ル。四晩目トナルト一寸退窟〔屈〕ナリ。俊子ノ土産ニ三十九円ヲ出シテハンドバッグヲ買ツテヤル。

十二月三日 日曜

午前中農林省ニテ強談判シテ、ヤット三万俵ダケ確定。
帰省シテ老母〔奥田つね〕ニ会ハントセルモ汽車ナク、已ムヲ得ズ知事ノオ伴ヲシテ博多マデブツ通シデ帰ヘルコトトス。車中知事ニ御馳走ニナル。

十二月四日 月曜

正午頃帰宅。

酒米リンク制ノ問題ニテ帰宅早々多忙、夕刻ニナリヤット帰宅。子供ニ土産ヲ買ハナカツタノデ、帰途洋菓子ヲ買ツテ間ニ合ハスコトトス。

十二月五日 火曜

県会ノ用意ト米ノ問題トニテ多忙ナリ。

十二月六日 水曜

明日ヨリ勸業費ノ予算県会トイフニ、ソノ用意ヲナスノ暇ナシ。全ク多忙ニテ閉口。長官明日上京トカニテ用意ヲナス。

十二月七日 木曜

民政ノ江口〔繁〕君ヨリ質問始マル。政友藤田〔国雄〕君米ノ問題ニ

テ失言シ、新聞記者退場ノコトアリ。長官一時半飛行機ニテ上京。県会ハ大シタ質問モナク、却ツテ暢氣ナリ。

十二月八日 金曜

県会質問第二日目ナリ。県会ヨリモ米ノ方が大変ナリ。

十二月九日 土曜

大シタ質問モナク、県会昼過ぎ終了。県農会大宅〔農夫太郎 福岡県農会技師〕、広吉〔政雄 福岡県農会幹事・農会報編集者〕両君ト泉ニテ呑ミ遅ク帰宅。
彬、目方二貫七百匁ナリ

十二月十日 日曜

全クユツクリセル日曜日ニテ外出モセズ、寝テ過シ夕刻ヨリ腹減ラシニ手伝ヲナス。

十二月十一日 月曜

県農会ニ会議ニ行ク。技術員ノ待遇問題ニテ時間ヲ費ス。知事帰宅、内務、農林両省ヨリ米ノ供出ニツキテノ連絡員来県、夕刻マデイロク説明。夜ハ常盤館ニテ宴会。

十二月十二日 火曜

午后ヨリ予算委員会アリ。
夜ハ常盤館ニテ知事招宴アリ。深更マデユツクリト飲ム。

十二月十三日 水曜

午前中予算委員会ナリ。米ノ問題マタ／＼逼迫ノ態ナリ。

十二月十四日 木曜

米ノ問題ニテ大変ナリ。県会モイ／＼終り方ニテ、関係者ノ活動盛ナリ。

課員ノ賞与ヲ大体決定。

十二月十五日 金曜

県会十六日閉会ノトコロ一日繰り上げ本日閉会。ユツクリトセル県会ナリ。

米ノコトバカリニテ疲労甚シ。

十二月十六日 土曜

朝カラ晩マデ米米米ナリ。土曜日ナルモ夕刻帰宅。

十二月十七日 日曜

今回又県内ヨリ相当ノ供出ヲ得ルノ必要アリテ明日会議アリ。本日ハ知事官舎ニテ関係課長ノ集リテ会議。

午前中ヨリ県庁ニ出勤。

毎日ガミ／＼言ハレテ嫌氣ヲサセリ。

十二月十八日 月曜

米穀供出ニ関スル関係団体長会議。百余名集リ議論百出。午后ヨリ警察署長会議。米ノ供出ニツキ出席シテイロ／＼意見ヲ述ブ。

終リテ明日ヨリノ会議ニ関係課長出席ニツキ打合会。何モカモ一人ニテヤラネバナラヌノデ大変ナリ。

十二月十九日 火曜

各地方ニテ米ノ供出打合会ヲ開ク。糸島郡ニ出張。米ノ供出ハ各資材ノ配給トノ交換条件トノ意見出ズ。

農村思想問題トシテ由々シキ問題ナリ。

十二月二十日 水曜

先日來疲労ガ出タタメカ鼻ニオ出来ガ出来テ氣持チ悪ク、今日ノ八女郡ヘノ出張ハトリヤメテ後藤君ニ頼ム。気分悪シ。各地供出ノ打合ハ大分議論アリタル如キモ兎ニ角米ノ供出ヲ得ルコトナル。

十二月二十一日 木曜

ソロ／＼年末賞与ヲ貰フ頃トナル。各特別事業団体ノ分ナドヲ定ム。米ノ供出協議会ニ出張セル係員ヨリ意見ノ開陳ヲ求ム。

十二月二十二日 金曜

米ノ供出続行中、多忙ナルオ正月ヲ迎ヘルコトナル。ソロ／＼供出出荷ノ報告アリ。米ノ問題モイヤニナレリ。肥料ノ問題等知事ト相談。

十二月二十三日 土曜

米ノ問題ニツキ經濟協議会ノ食糧部門委員会ヲ開ク。意見出デタルモ大シタモノナシ。食事ヲ共ニシテ解散。

肥料ノ問題ニツキ（児玉九一）知事ト懇談。県政記者ヲ種畜場ニ案内

シ、カモヲ御馳走スルコトニセルタメ遅レナガラ三国マデ出カク。
深更帰宅。

十二月二十四日 日曜

米問題ニテ明日山崎〔巖〕土木局長来訪ニツキ、用意ノタメ出勤。連絡ノタメオソクマデ仕事ヲナス。

十二月二十五日 月曜

山崎土木局長来訪。午前十一頃着ノ予定ノトコロ正午過ニ来福。食事ヲ共ニシナガライロ／＼説明ヲナス。オ蔭デ今日ノ休ミモ亦ツブレケリ。

俊子病氣トナル。

十二月二十六日 火曜

肥料配給統制ニ関スル委員会ヲ明日開会ニツキ、之ガ最後ノ打合ノタメ〔兄玉九一〕知事ト協議。〔加藤等〕商工課長ノ印判ヲオサセルノニ苦勞。

夜ハ僚友会連中ヨリ一方亭ニテ宴会ニマネカル。

年末賞与モ大体決マレリ。

十二月二十七日 水曜

肥料配給統制委員会ヲ開ク。

夜ハ清流荘ニテ鉱業会連中ト懇談会。

十二月二十八日 木曜

米ノ出廻ハリモ大体順調デアリ、年末年始ハ一寸ユツクリ出来ルラシ。年末年始ノ当直出勤計画ヲ立テタリナドシテ、新年ニハ子供ヲ連レテ帰省ノ肚ヲキメ、今日ハ仕事モ閑散デユツクリス。
夜ハ奥村〔利雄〕、東〔房太〕君ナドト泉ニテ食フ。

十二月二十九日 金曜

知事官舎ヲ訪ヒ賜暇。

俊子、子供ト共ニ買物ニ出ル。

年末賞与ハ合計二、二〇五円ニテ昨年ヨリ一、〇〇〇円増加。

十二月三十日 土曜

午后三時五十分発帰省ノコトトシ、午前中良彦ヲ連レテ買物ニ出ル。子供モモノモ大体従来ノ倍ノ値段デ品物が少クテ閉口ナリ。帰省ノ準備ニ忙ハシクテ大変ナリ。漸ク汽車ニ間ニ合ヒ、夜七時五分下ノ関発夜行寝台ニ乗ル。子供ハアマリ無理モ言ハザルモ自分ガ風邪氣味ニテ閉口。

十二月三十一日 日曜

大阪着午前七時四十五分。大変ナ荷物ヲサゲテ大軌電車ニテ帰宅。由良君ニ送ツテ貰ヒ、終始迷惑ヲカク。

老母〔奥田つね〕元氣ニテ一安心。

今年ハ米ノ問題ニテ一騒動起ラヌカト思ハレタガ無事オサマリ結構ナリ。忙ハシキ年ヲ久シブリニテ故山ニテ老母ト送ル。